

公共交通に関わる市民アンケート調査 報告書

令和5年8月

伊豆の国市

目次

1 調査の概要	1
1.1 調査の目的.....	1
1.2 調査の概要.....	1
1.3 調査結果の見方.....	1
2 調査の結果	2
2.1 回答者属性.....	2
2.2 日常の外出傾向.....	10
2.3 現状の公共交通の評価.....	18
2.4 市の交通施策について.....	22
2.5 将来の移動や新技術について.....	29
3 調査票	35

1 調査の概要

1.1 調査の目的

市民の外出等の実態や公共交通の利用状況などを把握し、地域公共交通計画の基礎資料とするため。

1.2 調査の概要

■調査対象地域	伊豆の国市全域
■調査対象者	伊豆の国市在住の1,000人
■調査対象	16歳以上90歳未満より無作為抽出
■調査期間	令和5年6月14日（水）～令和5年6月30日（金）
■調査方法	郵送による配布・回収
■配布数	1,000件
■回収数	回収数 435件（回収率 43.5%）

1.3 調査結果の見方

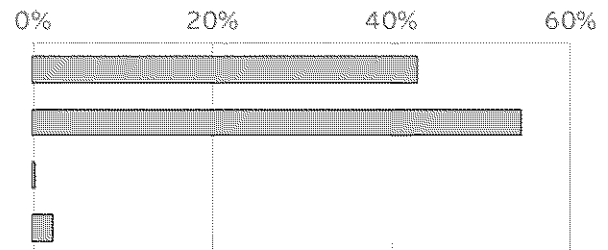
- ①比率はすべてパーセント表示とし、小数点第2位で四捨五入しているため、パーセントの合計が100.0%にならない場合があります。
- ②母数となるべき実数は、回答者数として示しています。複数回答が可能な設問についても、比率算出の母数は回答者数とし、それぞれの選択肢の支持率を算出しています。そのため、複数回答が可能な設問は、回答総数が回答者数を上回り、パーセントの合計は、100.0%を超える値となっています。
また、別途表記があるものについては、無回答をサンプル数から除いた値を基数としています。
- ③表中の「n」は、設問の回答対象となる人数を表しています。
- ④本調査における山間地区は、高原区、小松ヶ原区、長者原区、田原野区、浮橋区、下畑区、田中山区とします。

2 調査の結果

2.1 回答者属性

A-1 回答者の性別

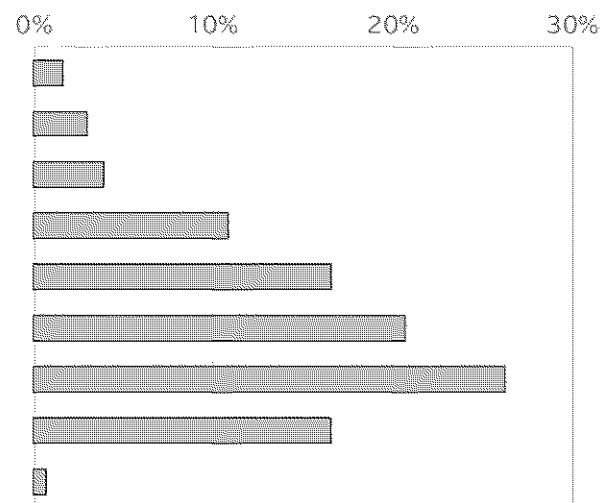
項目(n=435)	件数	比率
男性	187	43.0%
女性	237	54.5%
答えたくない	1	0.2%
無回答	10	2.3%
計	435	100.0%



○「男性」が43.0%、「女性」が54.5%となっています。

A-2 回答者の年齢

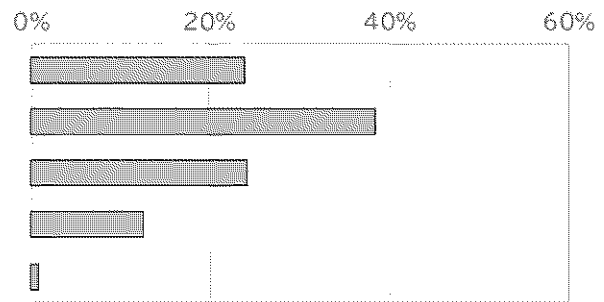
項目(n=435)	件数	比率
10歳代	7	1.6%
20歳代	13	3.0%
30歳代	17	3.9%
40歳代	47	10.8%
50歳代	72	16.6%
60歳代	90	20.7%
70歳代	114	26.2%
80代以上	72	16.6%
無回答	3	0.7%
計	435	100.0%



○「70歳代」が26.2%と最も多く、次いで「60歳代」20.7%、「50歳代」16.6%、「80代以上」16.6%となっています。

A-3 居住地区

項目(n=435)	件数	比率
長岡地区	104	23.9%
葦山地区	167	38.4%
大仁地区	105	24.1%
山間地区	55	12.6%
無回答	4	0.9%
計	435	100.0%

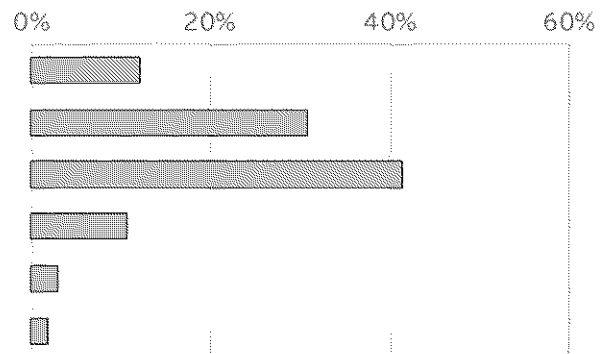


※本調査における山間地区は、1 ページを参照

- 「葦山地区」が最も多く 38.4%、次いで「大仁地区」が 24.1%、「長岡地区」が 23.9%となっています。

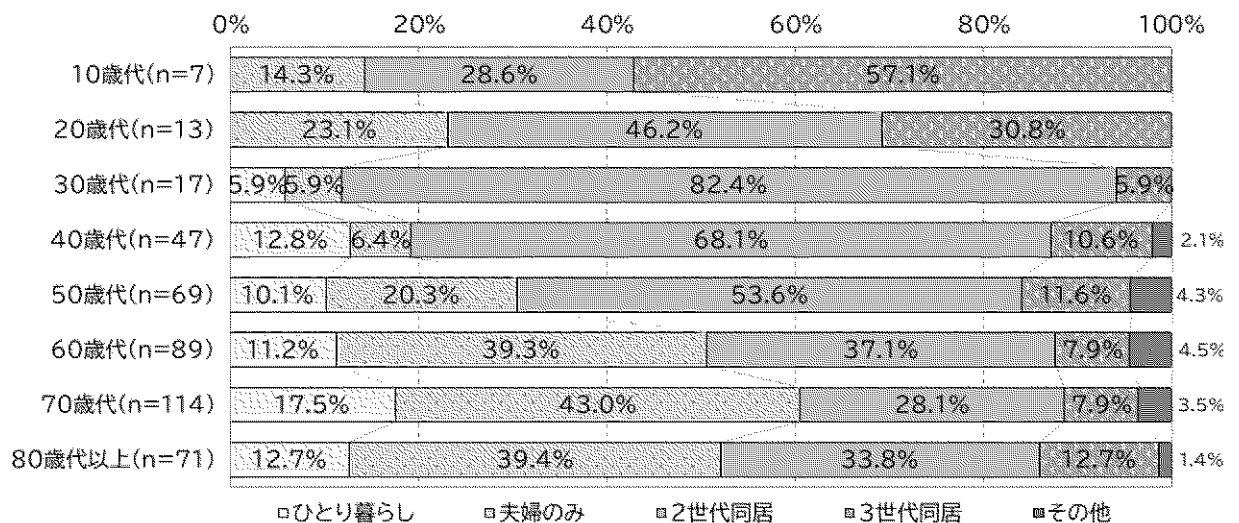
A-4 家族構成

項目(n=435)	件数	比率
ひとり暮らし	53	12.2%
夫婦のみ	134	30.8%
2世代同居	180	41.4%
3世代同居	47	10.8%
その他	13	3.0%
無回答	8	1.8%
計	435	100.0%



※その他: 夫妻長男、妹一人、夫婦・実姉、子(県外在)、姉・弟、夫婦と妻の母、無回答(7)

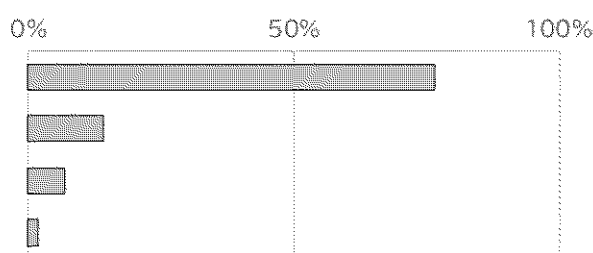
- 「2世代同居」が 41.4%と最も多く、次いで「夫婦のみ」30.8%、「ひとり暮らし」12.2%となっています。



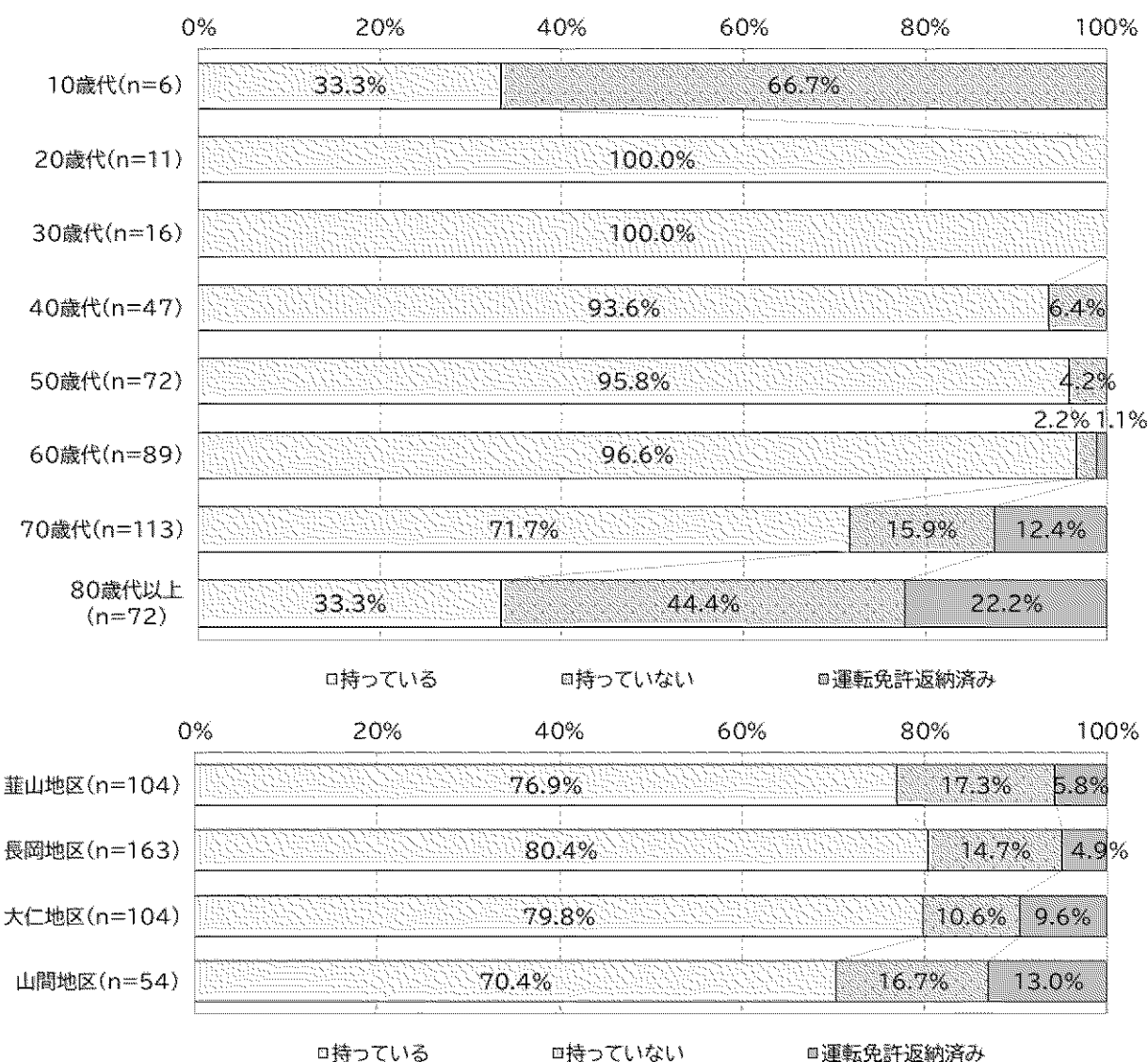
- 「2世代同居」は 30 歳代が最も多く 82.4%、「3世代同居」は 10 歳代が最も多く 57.1%、「ひとり暮らし」は 30 歳代以上で各年代約 10%となっています。

A-5 運転免許の所有

項目(n=435)	件数	比率
持っている	333	76.6%
持っていない	62	14.3%
運転免許返納済み	31	7.1%
無回答	9	2.1%
計	435	100.0%



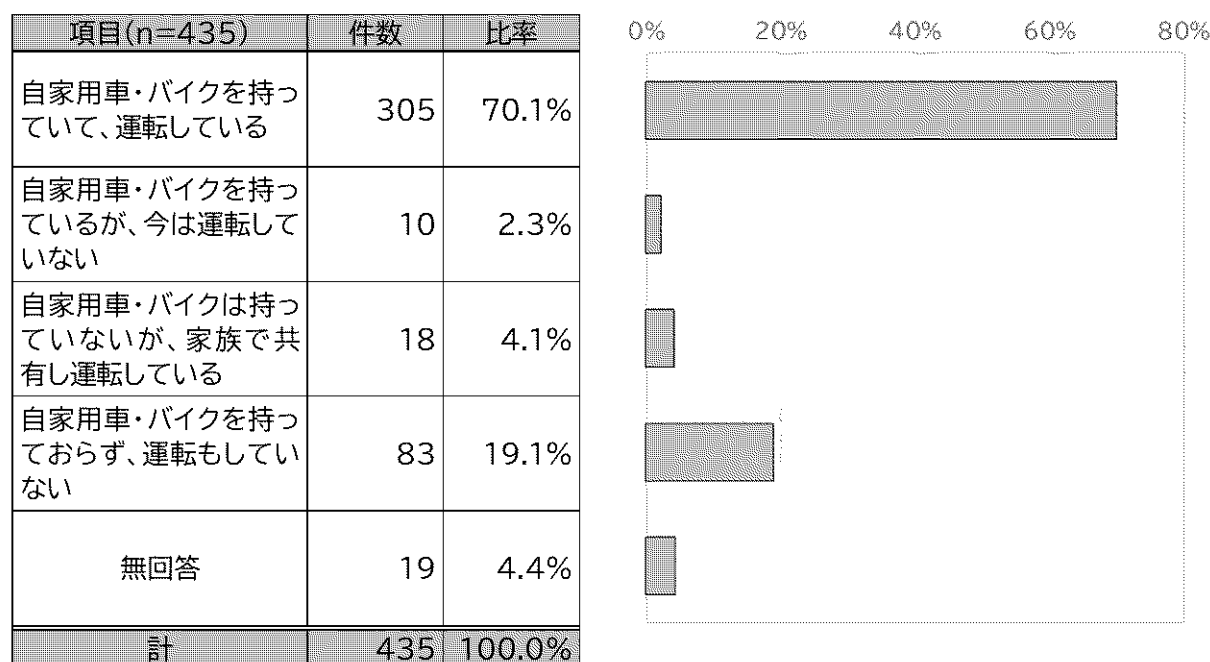
- 「持っている」が最も多く76.6%、次いで「持っていない」が14.3%となっています。
- 「運転免許返納済み」は7.1%でした。



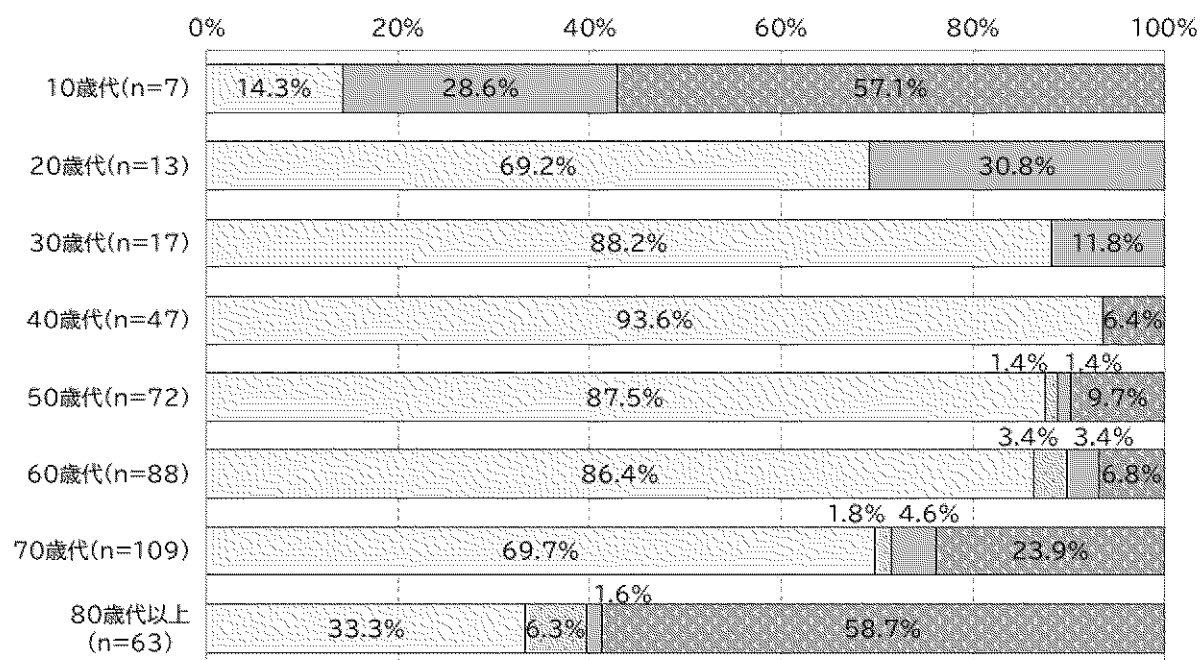
○年代別では、20歳代～60歳代は約9割が運転免許を持っており、70歳代や80歳代以上になると免許返納者が増加しています。

○地区別では、運転免許の所有について顕著な差は見られませんでした。

A-6 自家用車・バイクの所有

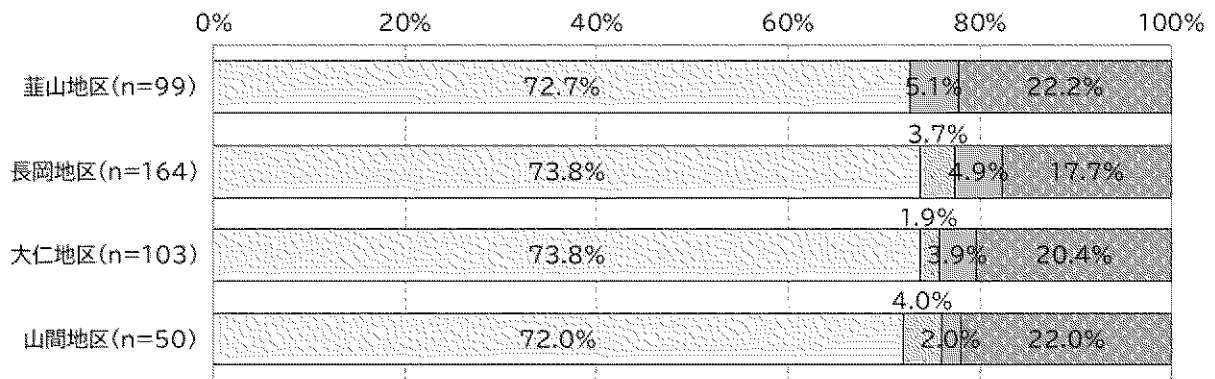


○「自家用車・バイクを持っていて、運転している」が70.1%と最も多く、次いで「自家用車・バイクを持っておらず、運転もしていない」が19.1%となっています。



- 自家用車・バイクを持っていて、運転している
- 自家用車・バイクを持っているが、今は運転していない
- 自家用車・バイクは持っていないが、家族で共有し運転している
- 自家用車・バイクを持っておらず、運転もしていない

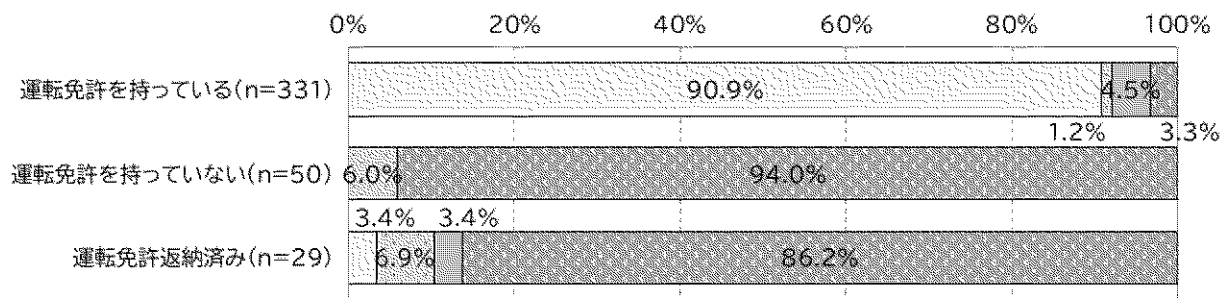
○年代別では、20歳代～60歳代は約7～8割が自家用車等を持っていて運転しているものの、70歳代になると約25%が自家用車等を所有せず、80歳代以上になると約6割が自家用車等を所有していません。



- 自家用車・バイクを持っていて、運転している
- ▨自家用車・バイクを持っているが、今は運転していない
- ▣自家用車・バイクは持っていないが、家族で共有し運転している
- 自家用車・バイクを持っておらず、運転もしていない

※本調査における山間地区は、1 ページを参照

○地区別では、自家用車・バイクの所有について差は見られませんでした。

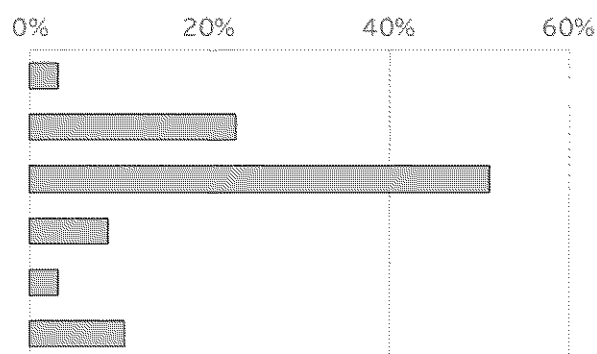


- 自家用車・バイクを持っていて、運転している
- ▨自家用車・バイクを持っているが、今は運転していない
- ▣自家用車・バイクは持っていないが、家族で共有し運転している
- 自家用車・バイクを持っておらず、運転もしていない

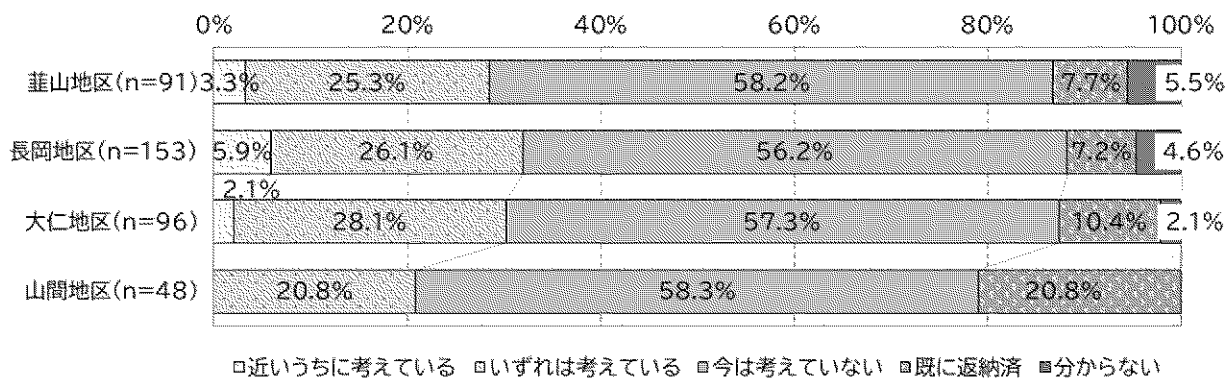
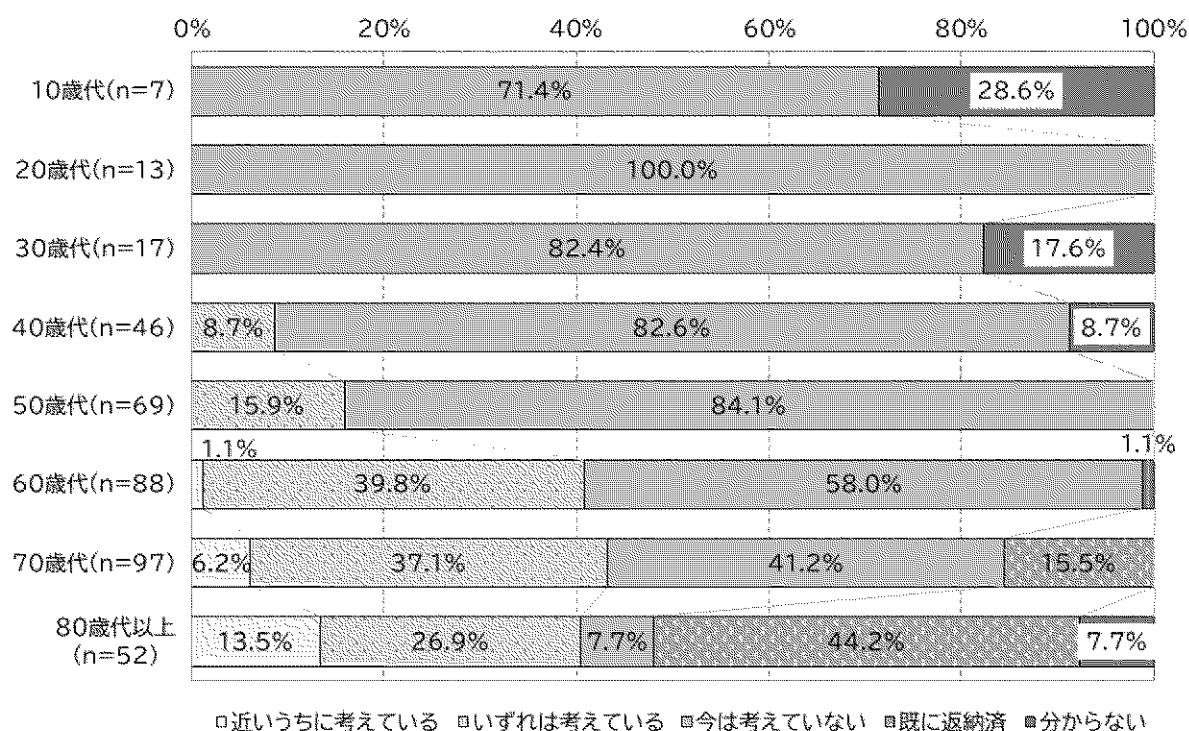
○運転免許を持っている人の約9割は、自家用車等を所有しています。

A-7 免許返納

項目(n=435)	件数	比率
近いうちに考えている	14	3.2%
いずれは考えている	100	23.0%
今は考えていない	223	51.3%
既に返納済み	38	8.7%
分からない	14	3.2%
無回答	46	10.6%
計	435	100.0%



○「今は考えていない」が最も多く51.3%、次いで「いずれは考えている」が23.0%となっています。



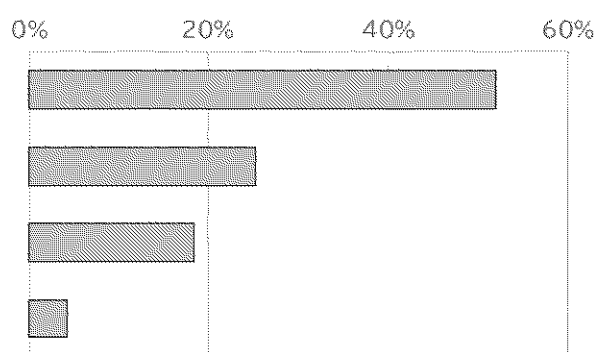
※本調査における山間地区は、1 ページを参照

○免許返納者は70歳代で約15%、80歳代で約4割となっています。

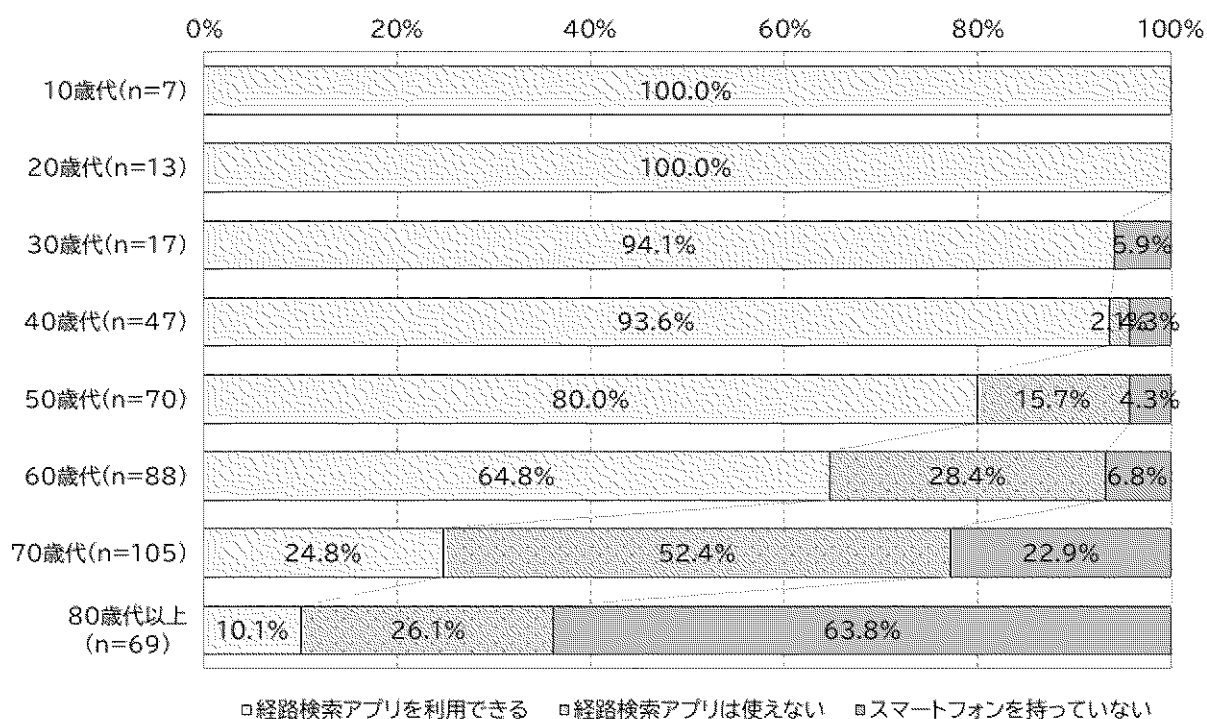
○地区別では、山間地区の免許返納が約2割、その他の地区は約1割となっています。

A-8 スマートフォンの経路検索アプリの利用

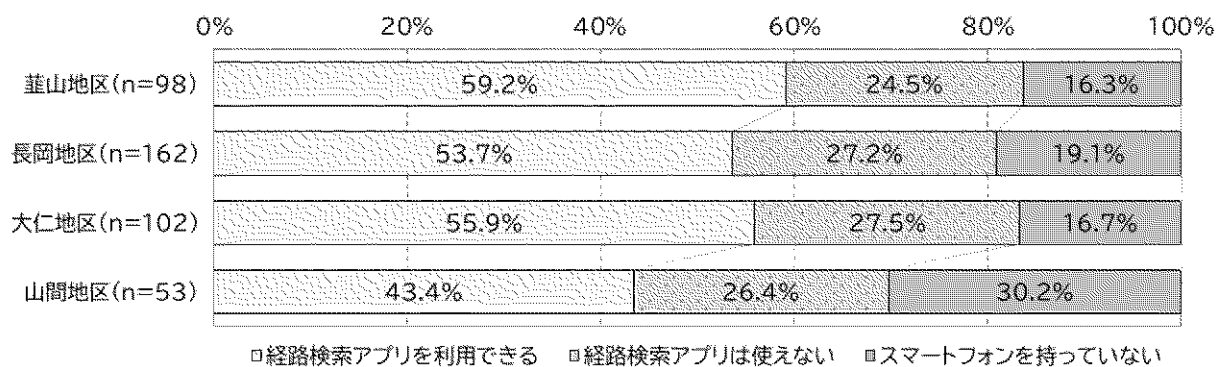
項目(n=435)	件数	比率
経路検索アプリを利用できる	226	52.0%
経路検索アプリは使えない	110	25.3%
スマートフォンを持っていない	80	18.4%
無回答	19	4.4%
計	435	100.0%



○「経路検索アプリが利用できる」が 52.0%と最も多く、次いで「経路検索アプリは使えない」25.3%、「スマートフォンを持っていない」18.4%となっています。

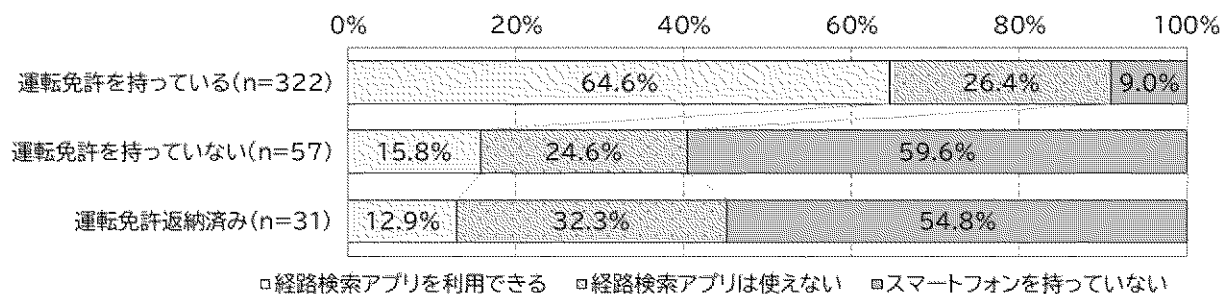


○年代別では、40歳代までは約9～10割が経路検索アプリを利用できるものの、50歳代以降は減少し、70歳代は約25%、80歳代は約1割が利用できます。



※本調査における山間地区は、1 ページを参照

○地区別では、山間地区は約 3 割がスマートフォンを持っておらず、経路検索アプリが利用できるのは約 4 割となっています。



○運転免許返納者の約 9 割はスマートフォンを持っていないか、スマートフォンを持っていても経路検索アプリを使うことができません。

2.2 日常の外出傾向

B-1 通勤通学

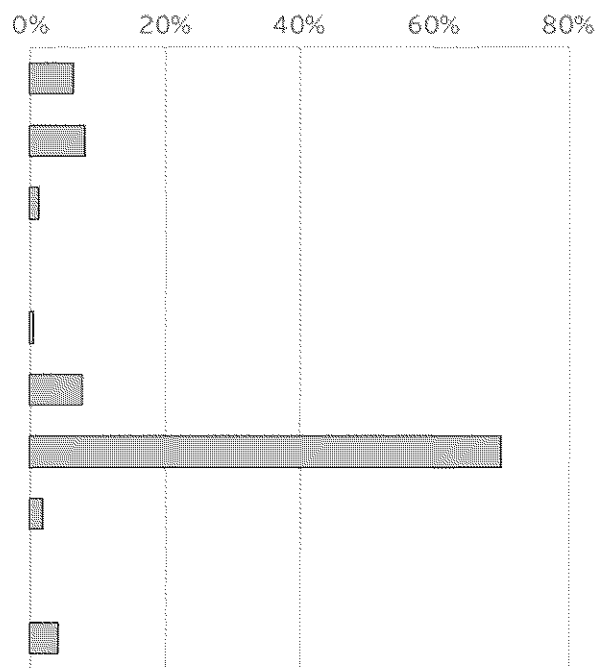
項目(n=192)	件数	比率
伊豆の国市(町丁目記載なし)	45	23.4%
三島市	29	15.1%
伊豆市	20	10.4%
沼津市	19	9.9%
伊豆の国市 長岡	10	5.2%
函南町	10	5.2%
伊豆の国市 奈古谷	5	2.6%
清水町	5	2.6%
長泉町	4	2.1%
伊豆の国市 田京	4	2.1%
神奈川県	4	2.1%
伊豆の国市 四日町	3	1.6%
県内(複数市町回答)	3	1.6%
伊豆の国市 南條	3	1.6%
富士市	3	1.6%
裾野市	3	1.6%
伊豆の国市 古奈	3	1.6%
伊豆の国市 北江間	2	1.0%
伊豆の国市 寺家	2	1.0%
伊豆の国市 大仁	2	1.0%
御殿場市	2	1.0%
小山町	1	0.5%
伊豆の国市 浮橋	1	0.5%
静岡市	1	0.5%
伊豆の国市 原木	1	0.5%
伊豆の国市 三福	1	0.5%
東京都	1	0.5%
伊豆の国市 中條	1	0.5%
伊豆の国市 下畑	1	0.5%
伊豆の国市 中	1	0.5%
伊東市	1	0.5%
伊豆の国市 南江間	1	0.5%

※無回答、行先不明を除く

○「伊豆の国市(町丁目記載なし)」が23.4%、「三島市」が15.1%となっています。

通勤通学の移動手段

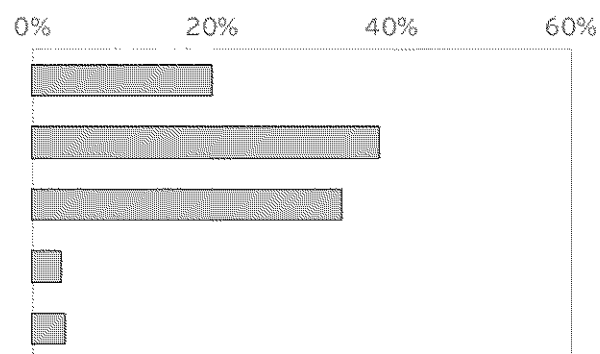
項目(n=220)	件数	比率
徒歩	14	6.4%
自転車	18	8.2%
バイク	3	1.4%
路線バス	0	0.0%
タクシー	1	0.5%
鉄道	17	7.7%
自家用車	154	70.0%
家族の送迎	4	1.8%
その他	0	0.0%
無回答	9	4.1%
計	220	100.0%



○「自家用車」が70.0%、「自転車」が8.2%となっています。

通勤通学の頻度

項目(n=220)	件数	比率
毎日	44	20.0%
平日ほぼ毎日	85	38.6%
週数回	76	34.5%
月数回	7	3.2%
無回答	8	3.6%
計	220	100.0%



○「平日ほぼ毎日」が38.6%、「週数回」が34.5%となっています。

B-2 買物

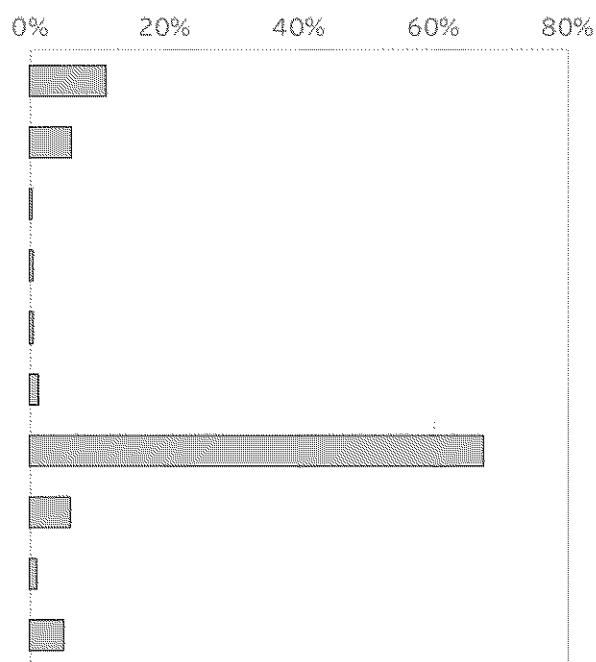
項目(n=310)	施設名(抜粋)	件数	比率	
伊豆の国市 (町丁目記載なし)	—	102	32.9%	0% 20% 40%
伊豆の国市 吉田	アピタ大仁店	43	13.9%	
函南町	フードストアあおき エブリィビッグデー	33	10.6%	
伊豆の国市 古奈	マックスバリュ 伊豆長岡店	26	8.4%	
伊豆の国市 寺家	エスポット 蕪山店	25	8.1%	
伊豆の国市 四日町	ラコアンドエース 伊豆長岡店	13	4.2%	
伊豆市	マックスバリュ カインズ	12	3.9%	
伊豆の国市 田京	マックスバリュ ハンディ	12	3.9%	
県内(複数市町回答)	—	11	3.5%	
三島市	イトーヨーカドー スーパーカドイケ	10	3.2%	
清水町	サントムーン柿田川 食遊市場	9	2.9%	
沼津市	スーパー田子重 ららぽーと沼津	6	1.9%	
伊豆の国市 長岡	魚屋	3	1.0%	
伊豆の国市 御門	セブンイレブン	1	0.3%	
伊豆の国市 南條	—	1	0.3%	
伊東市	ナガヤ	1	0.3%	
伊豆の国市 田原野	—	1	0.3%	
伊豆の国市 蕪山山木	—	1	0.3%	

※無回答、行先不明を除く

○「伊豆の国市 (町丁目記載なし)」が 32.9%、「伊豆の国市吉田 (アピタ大仁店)」が 13.9%となっています。

買物の移動手段

項目(n=369)	件数	比率
徒歩	42	11.4%
自転車	23	6.2%
バイク	1	0.3%
路線バス	2	0.5%
タクシー	2	0.5%
鉄道	5	1.4%
自家用車	249	67.5%
家族の送迎	22	6.0%
その他	4	1.1%
無回答	19	5.1%
計	369	100.0%

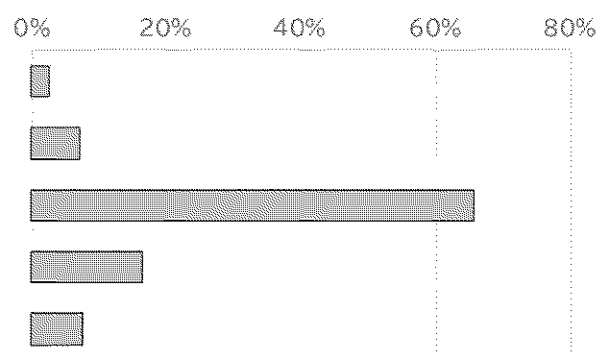


※その他:近くに住む長男(の送迎)、シニアカー、エメラルドタウンバス、無回答(1)

○「自家用車」が67.5%、「徒歩」が11.4%となっています。

買物の頻度

項目(n=369)	件数	比率
毎日	10	2.7%
平日ほぼ毎日	27	7.3%
週数回	243	65.9%
月数回	61	16.5%
無回答	28	7.6%
計	369	100.0%



○「週数回」が65.9%、「月数回」が16.5%となっています。

B-3 通院

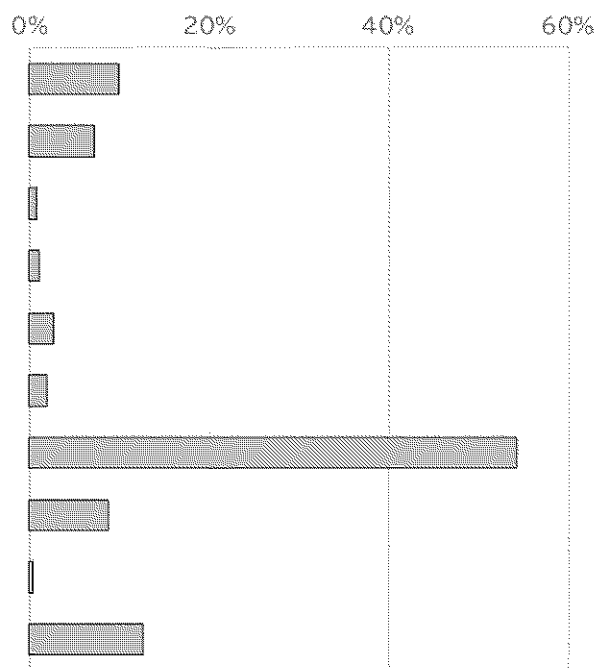
項目(n=225)	施設名(抜粋)	件数	比率	
伊豆の国市 (町丁目記載なし)	—	46	20.4%	
伊豆の国市 長岡	順天堂大学医学部 付属静岡病院	42	18.7%	
伊豆の国市 田京	伊豆保健医療センター	24	10.7%	
函南町	小谷いずみクリニック	16	7.1%	
県内(複数市町回答)	—	13	5.8%	
伊豆の国市 吉田	村田内科クリニック	12	5.3%	
三島市	三島総合病院	12	5.3%	
伊豆市	伊豆赤十字病院	10	4.4%	
伊豆の国市 四日町	恵泉クリニック くきの皮膚科	10	4.4%	
伊豆の国市 南條	杉本医院	7	3.1%	
伊豆の国市 南江間	江間クリニック	5	2.2%	
伊豆の国市 大仁	大仁医院西脇内科	5	2.2%	
沼津市	芹沢眼科	5	2.2%	
伊豆の国市 奈古谷	花の丘診療所	3	1.3%	
伊豆の国市 寺家	伊豆医療福祉センター	2	0.9%	
東京都	慶応病院	2	0.9%	
伊豆の国市 古奈	伊豆長岡第一 クリニック	2	0.9%	
長泉町	静岡がんセンター	1	0.4%	
静岡市	静岡県立こども病院	1	0.4%	
伊豆の国市 原木	ゆりのきクリニック	1	0.4%	
伊豆の国市 北江間	—	1	0.4%	
伊豆の国市 三福	みふく整骨院	1	0.4%	
伊豆の国市 中條	葦山温泉病院	1	0.4%	
御殿場市	フジ虎ノ門病院	1	0.4%	
伊豆の国市 御門	西島歯科クリニック	1	0.4%	
清水町	静岡医療センター	1	0.4%	

※無回答、行先不明を除く

- 「伊豆の国市(町丁目記載なし)」が20.4%、「伊豆の国市長岡(順天堂大学医学部付属静岡病院など)」が18.7%となっています。

通院の移動手段

項目(n=261)	件数	比率
徒歩	26	10.0%
自転車	19	7.3%
バイク	2	0.8%
路線バス	3	1.1%
タクシー	7	2.7%
鉄道	5	1.9%
自家用車	142	54.4%
家族の送迎	23	8.8%
その他	1	0.4%
無回答	33	12.6%
計	261	100.0%

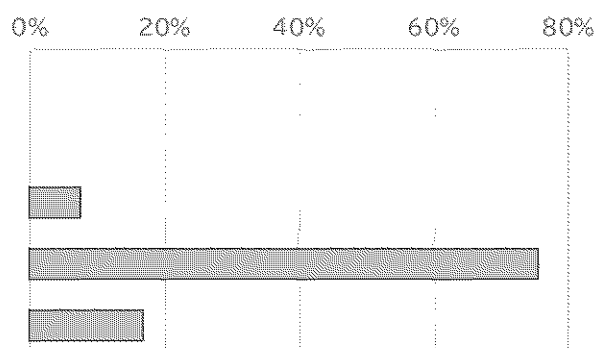


※その他:無回答(1)

○「自家用車」が54.4%、「徒歩」が10.0%、「家族の送迎」が8.8%となっています。

通院の頻度

項目(n=261)	件数	比率
毎日	0	0.0%
平日ほぼ毎日	0	0.0%
週数回	20	7.7%
月数回	197	75.5%
無回答	44	16.9%
計	261	100.0%



○「月数回」が75.5%、「週数回」が7.7%となっています。

B-4 その他の外出

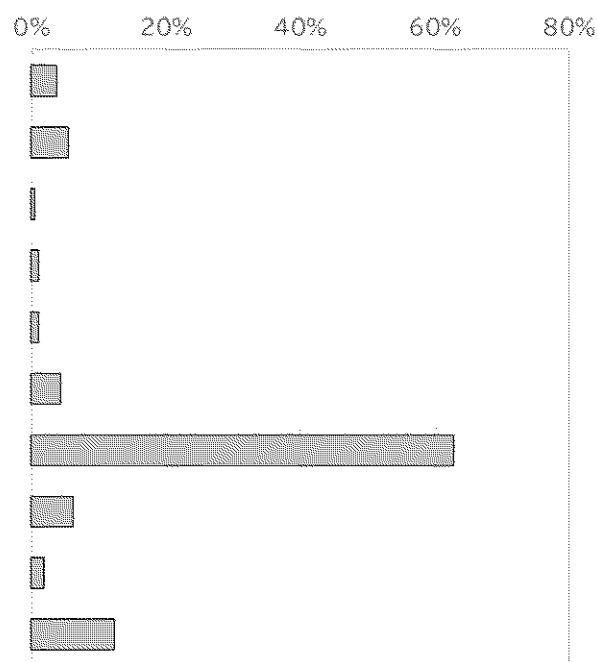
項目(n=121)	施設名(抜粋)	件数	比率	0%	10%	20%
伊豆の国市 (町丁目記載なし)	—	20	16.5%			
三島市	三島駅	17	14.0%			
沼津市	ららぽーと沼津	16	13.2%			
伊豆市	百笑の湯	14	11.6%			
函南町	ダイヤモンド	10	8.3%			
県内(複数市町回答)	—	9	7.4%			
清水町	サントムーン柿田川	8	6.6%			
伊豆の国市 吉田	アピタ大仁店	4	3.3%			
伊豆の国市 中條	葦山温泉病院	2	1.7%			
伊豆の国市 天野	狩野川リバーサイド パーク	2	1.7%			
伊豆の国市 三福	大仁体育館	2	1.7%			
伊東市	ドン・キホーテ	2	1.7%			
伊豆の国市 長岡	長岡温泉プール	2	1.7%			
神奈川県	—	2	1.7%			
静岡市	—	1	0.8%			
伊豆の国市 葦山山木	出荷場	1	0.8%			
長泉町	静岡がんセンター	1	0.8%			
伊豆の国市 奈古谷	編み物教室	1	0.8%			
伊豆の国市 四日町	葦山時代劇場	1	0.8%			
南伊豆町	—	1	0.8%			
富士市	—	1	0.8%			
伊豆の国市 北江間	いちごの里	1	0.8%			
伊豆の国市 田京	デイサービスカナリヤ	1	0.8%			
伊豆の国市 原木	ゆりの木クリニック	1	0.8%			
伊豆の国市 古奈	カーブス	1	0.8%			

※無回答、行先不明を除く

○「伊豆の国市(町丁目記載なし)」が16.5%、「三島市」が14.0%、「沼津市」13.2%となっています。

その他の外出時の移動手段

項目(n=161)	件数	比率
徒歩	6	3.7%
自転車	9	5.6%
バイク	1	0.6%
路線バス	2	1.2%
タクシー	2	1.2%
鉄道	7	4.3%
自家用車	101	62.7%
家族の送迎	10	6.2%
その他	3	1.9%
無回答	20	12.4%
計	161	100.0%

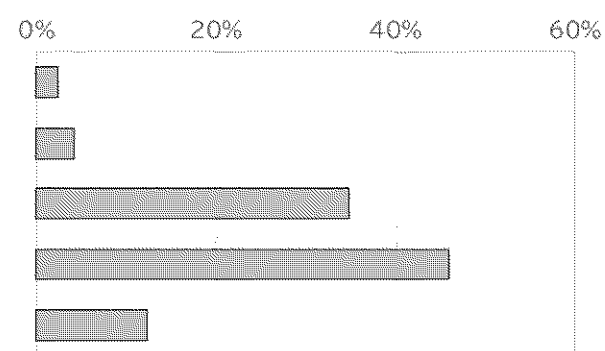


※その他: 自宅(長岡)、施設からの迎え、無回答(1)

○「自家用車」が62.7%、「家族の送迎」が6.2%となっています。

その他の外出の頻度

項目(n=161)	件数	比率
毎日	4	2.5%
平日ほぼ毎日	7	4.3%
週数回	56	34.8%
月数回	74	46.0%
無回答	20	12.4%
計	161	100.0%

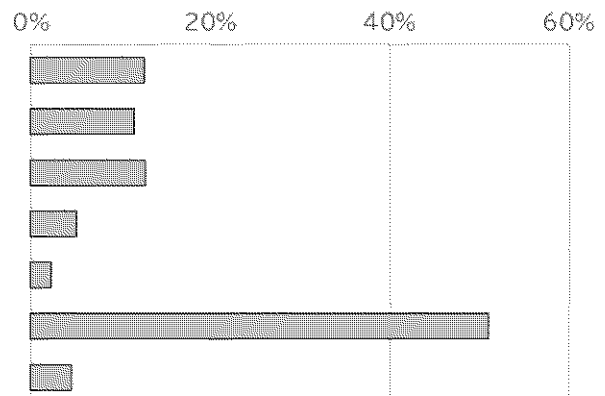


○「月数回」が46.0%、「週数回」が34.8%となっています。

2.3 現状の公共交通の評価

C-1 鉄道に関する満足度

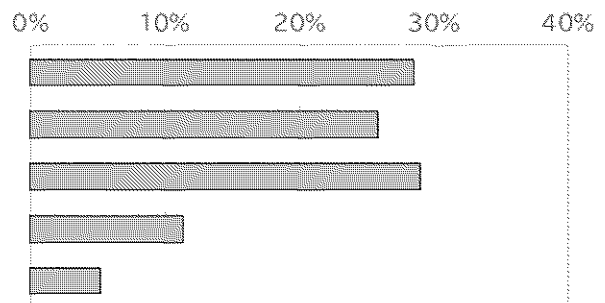
項目(n=435)	件数	比率
満足	55	12.6%
やや満足	50	11.5%
どちらでもない	56	12.9%
やや不満	22	5.1%
不満	10	2.3%
日常的には利用しない	222	51.0%
無回答	20	4.6%
計	435	100.0%



○「日常的には利用しない」が51.0%、「どちらでもない」が12.9%となっています。

「日常的には利用しない」「無回答」を除いた鉄道利用者の満足度

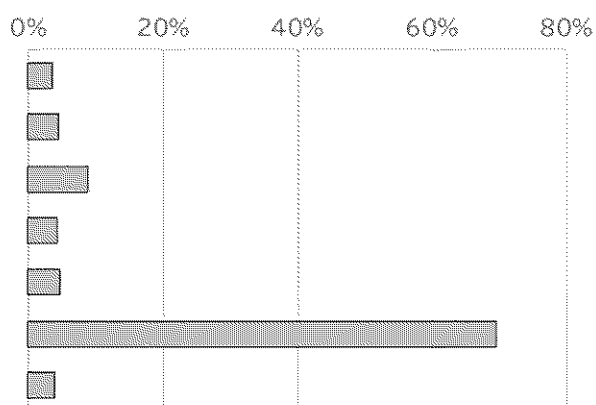
項目(n=193)	件数	比率
満足	55	28.5%
やや満足	50	25.9%
どちらでもない	56	29.0%
やや不満	22	11.4%
不満	10	5.2%
計	193	100.0%



○「どちらでもない」が29.0%、「満足」が28.5%となっています。

C-2 路線バスに関する満足度

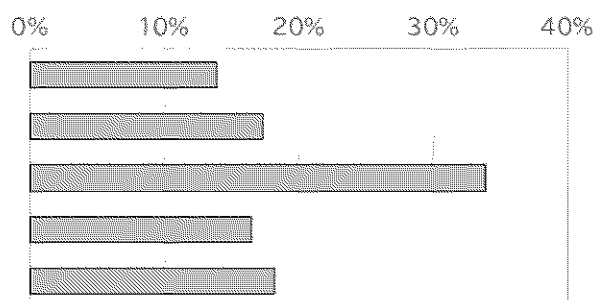
項目(n=435)	件数	比率
満足	16	3.7%
やや満足	20	4.6%
どちらでもない	39	9.0%
やや不満	19	4.4%
不満	21	4.8%
日常的には利用しない	303	69.7%
無回答	17	3.9%
計	435	100.0%



○「日常的には利用しない」が69.7%、「どちらでもない」が9.0%となっています。

「日常的には利用しない」「無回答」を除いた路線バス利用者の満足度

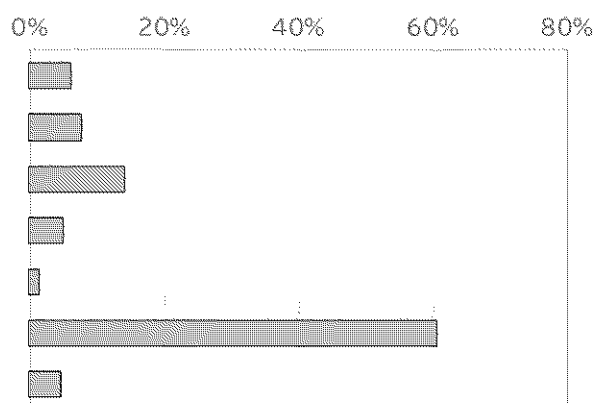
項目(n=115)	件数	比率
満足	16	13.9%
やや満足	20	17.4%
どちらでもない	39	33.9%
やや不満	19	16.5%
不満	21	18.3%
計	115	100.0%



○「どちらでもない」が33.9%、「不満」が18.3%となっています。

C-3 タクシーに関する満足度

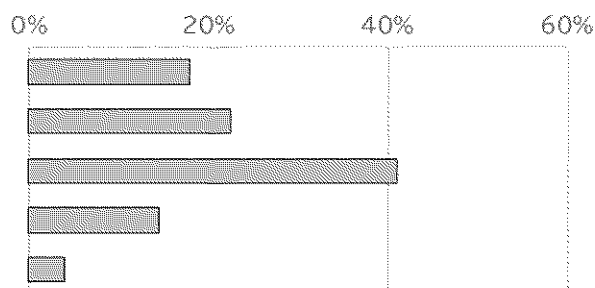
項目(n=435)	件数	比率
満足	27	6.2%
やや満足	34	7.8%
どちらでもない	62	14.3%
やや不満	22	5.1%
不満	6	1.4%
日常的には利用しない	264	60.7%
無回答	20	4.6%
計	435	100.0%



○「日常的には利用しない」が60.7%、「どちらでもない」が14.3%となっています。

「日常的には利用しない」「無回答」を除いたタクシー利用者の満足度

項目(n=151)	件数	比率
満足	27	17.9%
やや満足	34	22.5%
どちらでもない	62	41.1%
やや不満	22	14.6%
不満	6	4.0%
計	151	100.0%

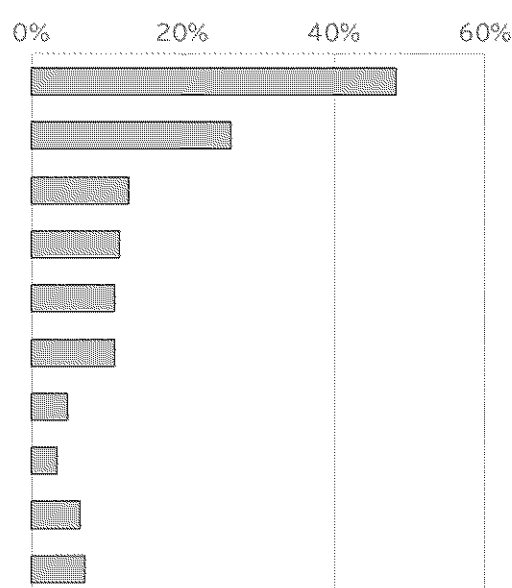


○「どちらでもない」が41.1%、「やや満足」が22.5%となっています。

C-4 現状の外出環境で困っていることは何ですか。

(最大で3つを○)

項目(n=435)	件数	比率
特にない	210	48.3%
自宅から駅が遠い	115	26.4%
自宅から最寄りの鉄道駅までの路線バスの本数が少ない	56	12.9%
自宅近くに公共交通機関がない	51	11.7%
自宅からバス停が遠い	48	11.0%
路線バスが自宅や目的地へ通っていない	48	11.0%
目的地へ向かう公共交通機関がない	21	4.8%
身体的な理由等により公共交通機関が利用できない	15	3.4%
その他	28	6.4%
無回答	31	7.1%
計	435	—



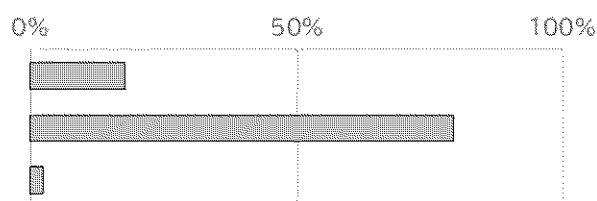
○「特にない」を除くと「自宅から駅が遠い」が 26.4%、「自宅から最寄りの鉄道駅までの路線バスの本数が少ない」が 12.9%となっています。

「目的地へ向かう公共交通機関がない」場合の具体的な目的地	
<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆保健医療センター、順天堂病院 ・菫山駅 ・沼津、東伊豆方面 ・三島 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院 ・職場 ・アピタ ・熱函等の国道沿いの商業施設
その他外出環境で困っていること	
<p>○鉄道について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田京駅のサービス性が落ちた。交通系 IC カードが使えない。 ・車いす利用なので、基本的に乗り換えは不可能 ・本数が少ない、単線、高い <p>○駅やバスターミナル周辺について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車の駅の近くに駐車場がない ・駅駐車スペースがせまい。 ・駅周辺の道がせまく、交通量もあり歩いていて危ない。 <p>○バスの運賃について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの運賃が高く、高校生の通学に使えない ・バスの運賃が値上がり <p>○バスの運行本数やダイヤについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼津駅～長岡駅までの最終バスが早すぎる。 ・バスが遅くにはない ・バスの運行回数が少ない ・バスの最終が早すぎる。タクシーが少ない ・バス本数が少ない、タクシーが少ない ・バスの回数が少ない <p>○タクシーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間タクシーがない 	<p>○数年先の外出環境の不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車をやめたら路線バスは重要。今は車で外出しているが、2～3年後はどうなるか分からないので不安。 ・免許返納まで2年間あるが、その後が心配。 ・田京駅に近いので、役場、郵便局、農協、三信があるので、歩いて行けるのでありがたい。しかし、年齢をこえると歩けないと思う。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃が高い ・どれも高い ・朝と夕の道路渋滞 ・自分で自家用車を運転するので、今は特に無い ・雨天で遠くへ出かけなければならない時 ・基本、公共交通は使わないが、たまに夜など使う時、道が暗く怖い。 ・子供の送迎用にもなってるので、乗る気がしない。 ・三島市函南町を見習って、自主運行バスを。

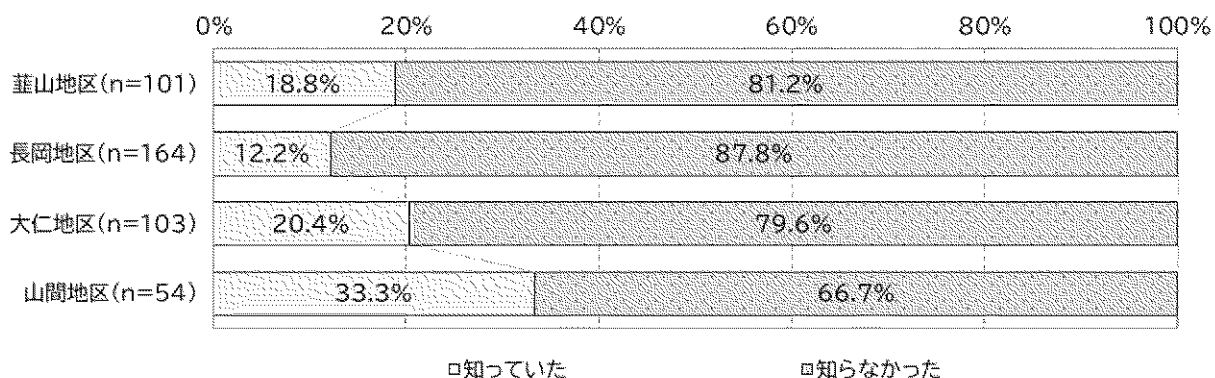
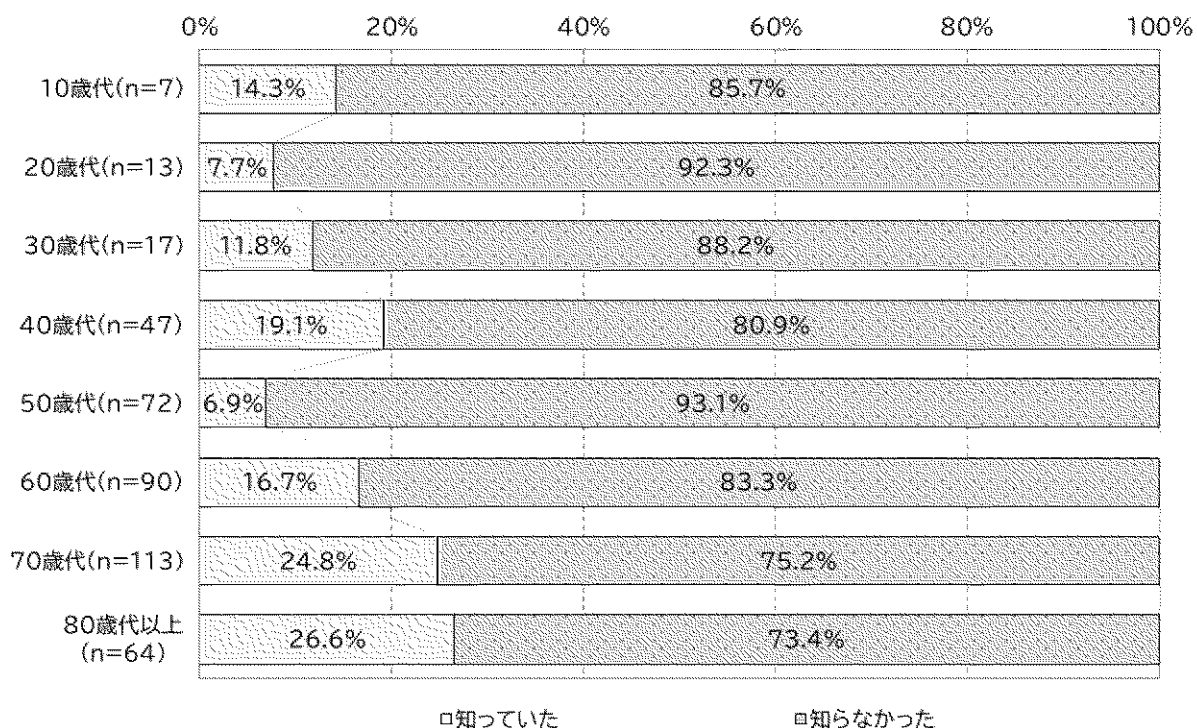
2.4 市の交通施策について

D-1 自主運行バスの認知度

項目(n=435)	件数	比率
知っていた	78	17.9%
知らなかった	346	79.5%
無回答	11	2.5%
計	435	100.0%



○「知らなかった」が79.5%、「知っていた」が17.9%となっています。



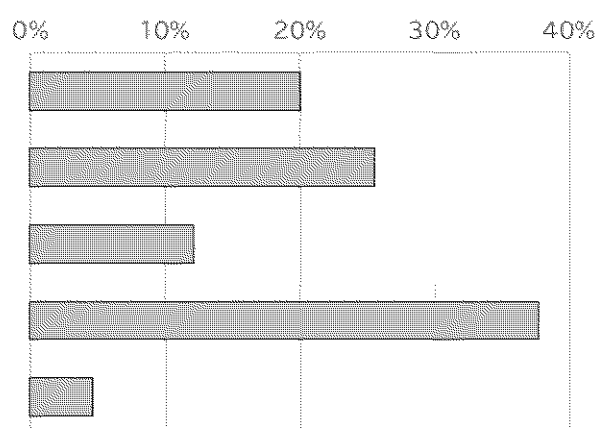
※本調査における山間地区は、1ページを参照

○年代別では、全年代で「知らなかった」が7割を超えています。

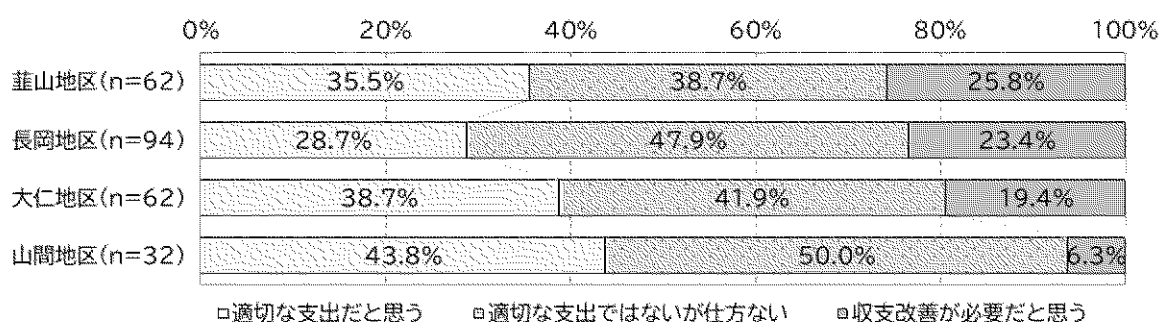
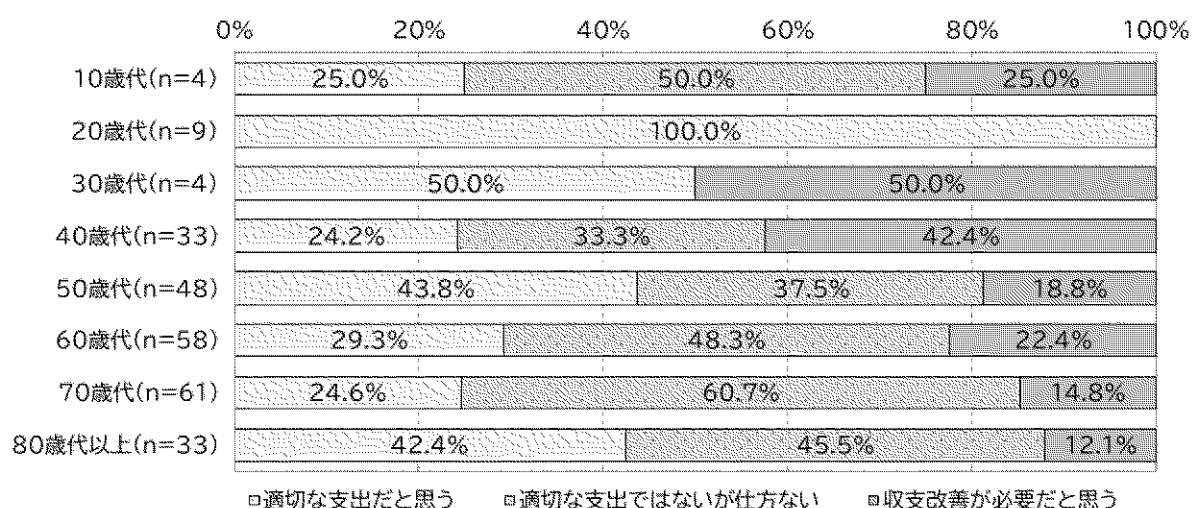
○地区別では、山間地区が自主運行バスを最も認知しており約35%、その他の地区の認知度は約1～2割となっています。

D-2 自主運行バスの支出について

項目(n=435)	件数	比率
適切な支出だと思う	87	20.0%
適切な支出ではないが仕方ない	111	25.5%
収支改善が必要だと思う	53	12.2%
分からない	164	37.7%
無回答	20	4.6%
計	435	100.0%



○「分からない」が37.7%、「適切な支出ではないが仕方ない」が25.5%となっています。



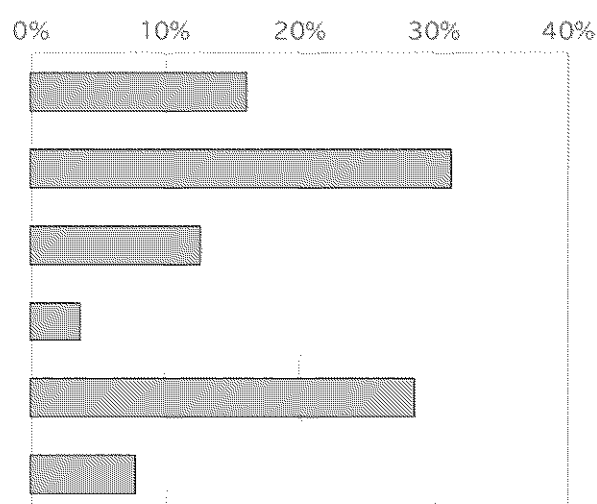
※「分からない」を除く、本調査における山間地区は、1ページを参照

○年代別では、20歳代は「適切な支出だと思う」が10割であるものの、他の年代では、「適切な支出だと思う」が5割以下となっています。

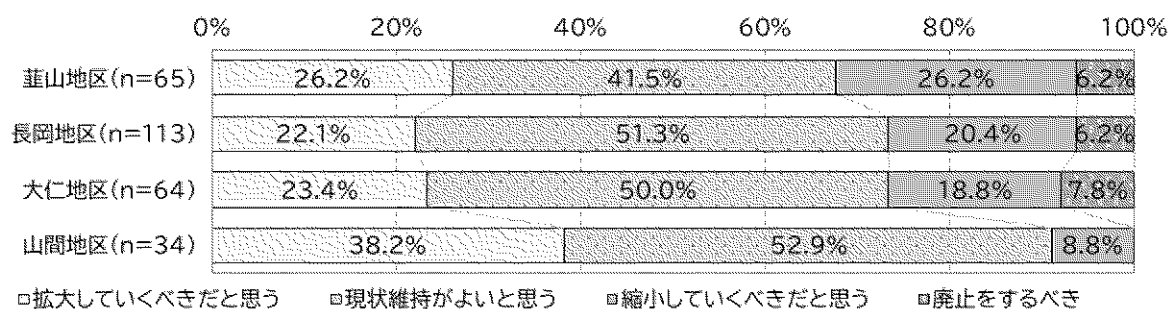
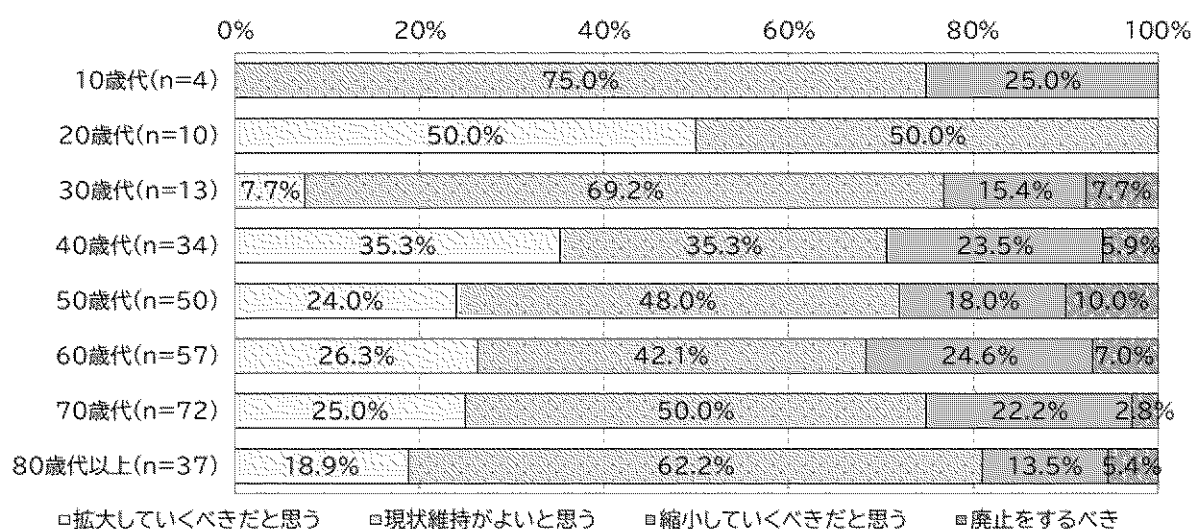
○地区別では、「適切な支出だと思う」が山間地区や大仁地区、葦山地区で約4割、長岡地区では約3割となっています。

D-3 自主運行バス事業を今後どうすべきか

項目(n=435)	件数	比率
拡大していくべきだと思う	70	16.1%
現状維持がよいと思う	136	31.3%
縮小していくべきだと思う	55	12.6%
廃止をするべき	16	3.7%
不明	124	28.5%
無回答	34	7.8%
計	435	100.0%



○「現状維持がよいと思う」が31.3%、「不明」が28.5%となっています。



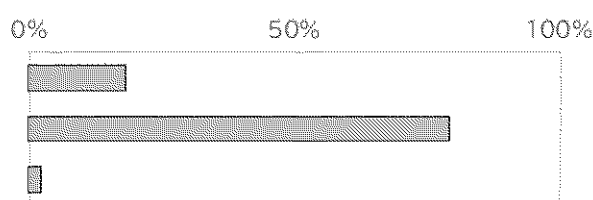
※「不明」を除く、本調査における山間地区は、1ページを参照

○年代別では、20歳代は「現状維持がよいと思う」が最も多いものの、20歳代以外では、「縮小していくべきだと思う」と「廃止をするべき」を合わせて約2～3割となっています。

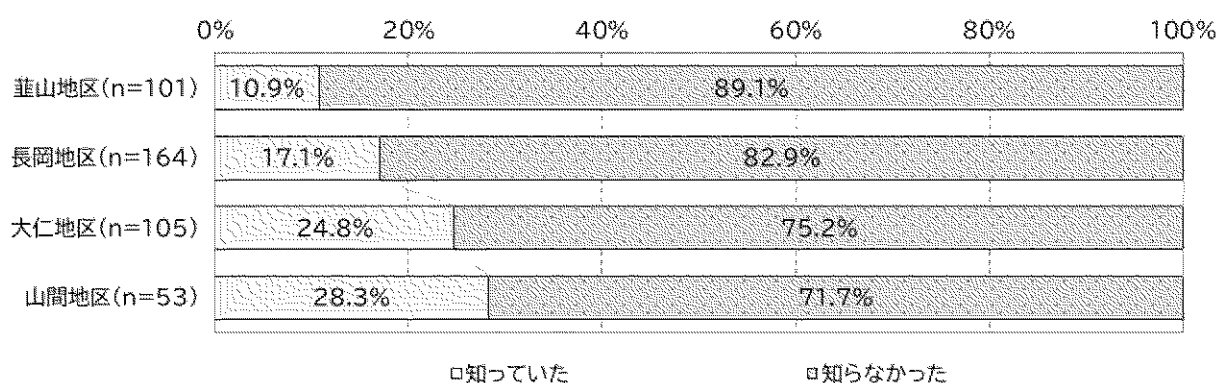
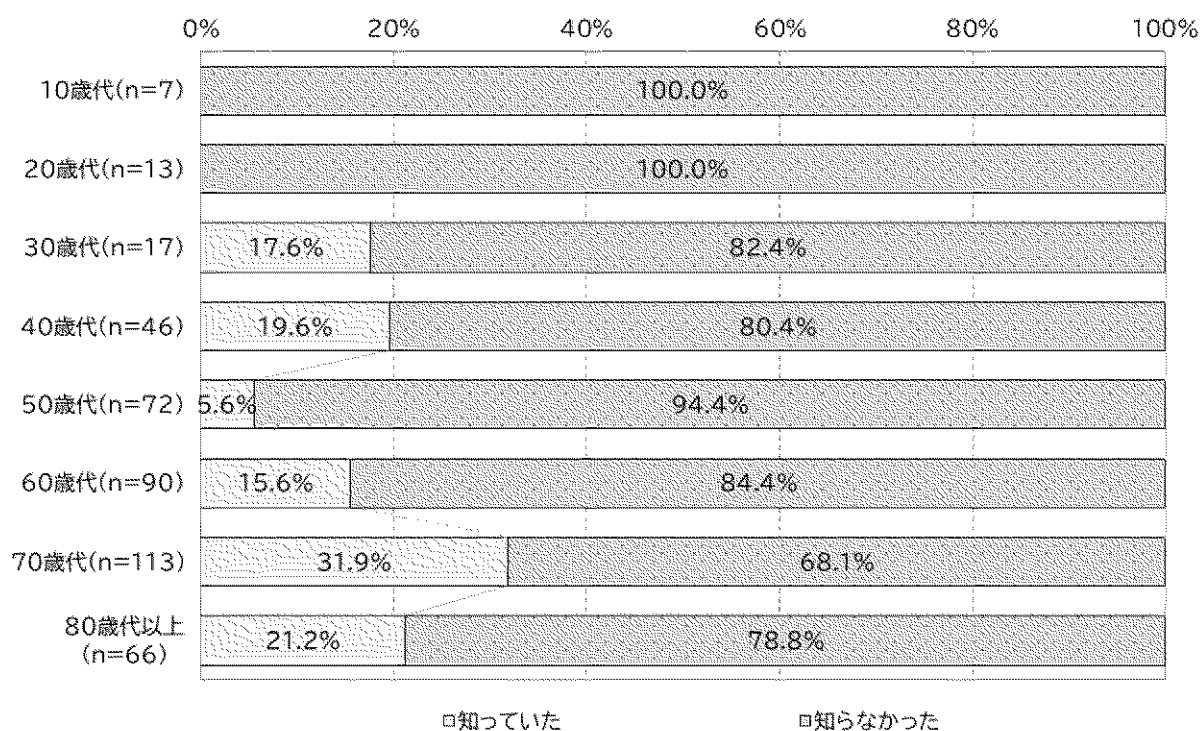
○地区別では、山間地区で「拡大していくべきだと思う」が約4割であり、他の地区と比べ高い割合となっています。

D-4 予約型乗合タクシーの認知度

項目(n=435)	件数	比率
知っていた	80	18.4%
知らなかった	345	79.3%
無回答	10	2.3%
計	435	100.0%



○「知らなかった」が79.3%、「知っていた」が18.4%となっています。



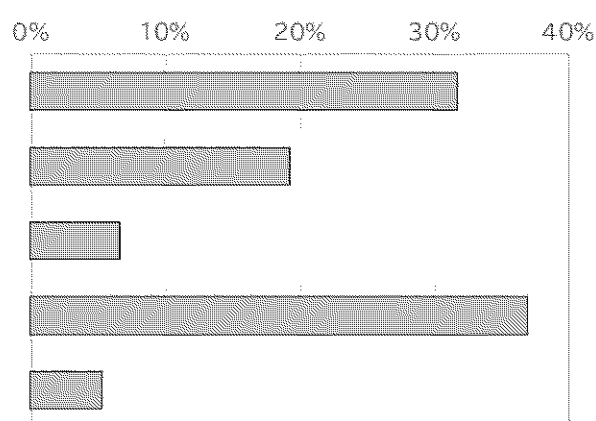
※本調査における山間地区は、1ページを参照

○年代別では、70歳代で「知っていた」が最も多く約3割、10歳代や20歳代は10割が「知らなかった」と回答しています。

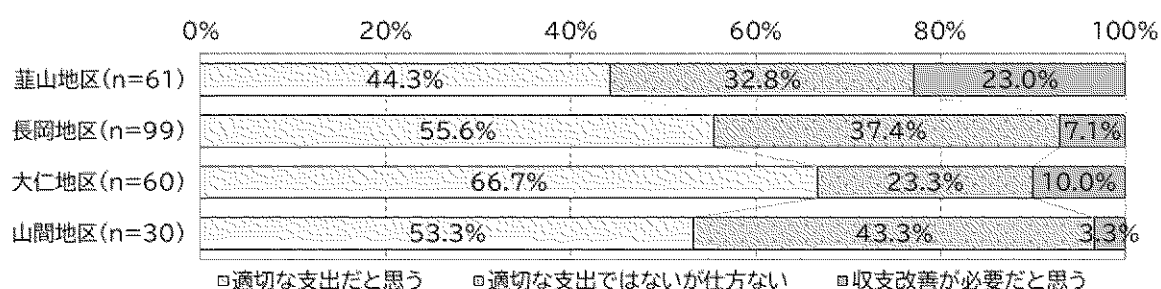
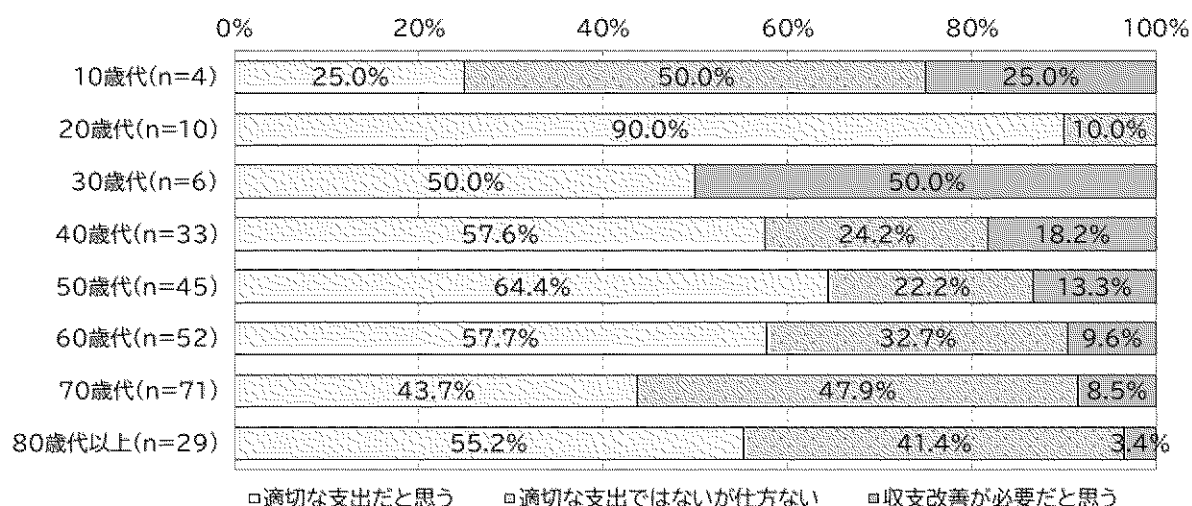
○地区別では、山間地区で「知っていた」が最も多く約3割であり、次いで大仁地区が約25%、長岡地区が約2割、葦山地区が約1割となっています。

D-5 予約型タクシー事業の支出について

項目(n=435)	件数	比率
適切な支出だと思う	138	31.7%
適切な支出ではないが仕方がない	84	19.3%
収支改善が必要だと思う	29	6.7%
分からない	161	37.0%
無回答	23	5.3%
計	435	100.0%



○「分からない」が37.0%、「適切な支出だと思う」が31.7%となっています。



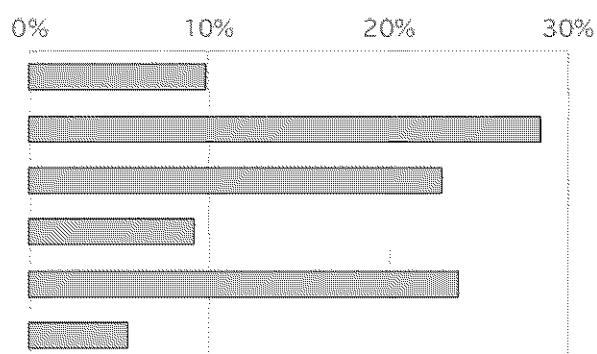
※「分からない」を除く、本調査における山間地区は、1 ページを参照

○年代別では、「収支改善が必要だと思う」が30歳代で約5割あるものの、40歳代以降は減少傾向にあります。

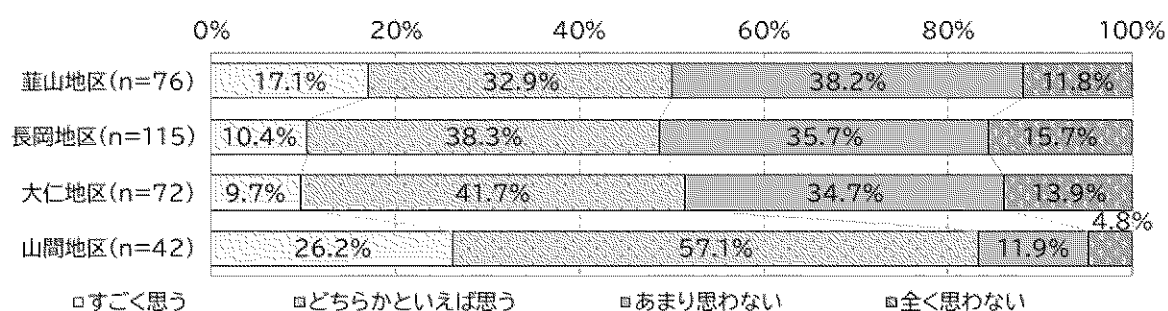
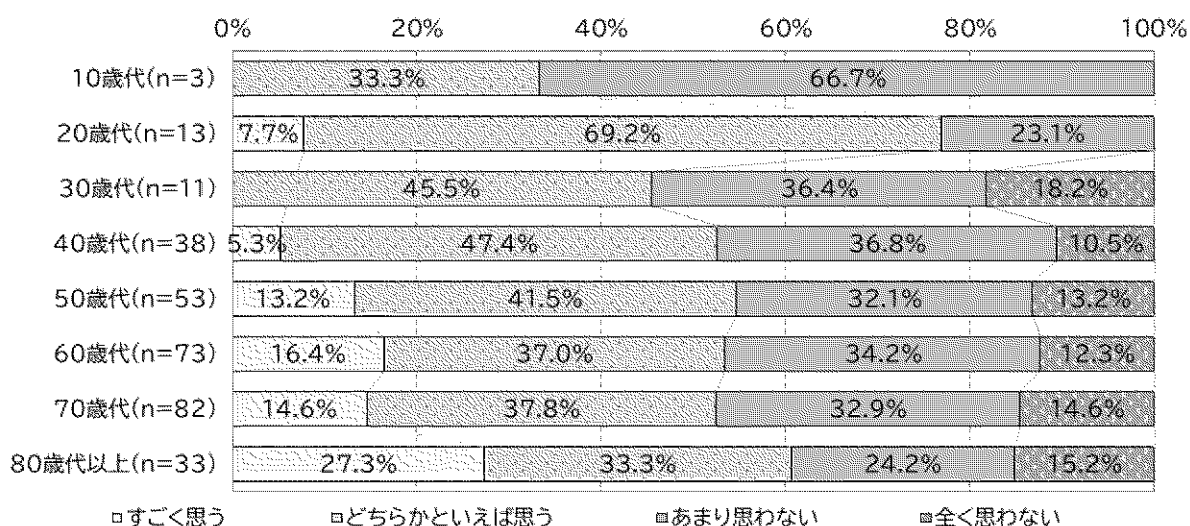
○地区別では、「適切な支出だと思う」が大仁地区で約7割、長岡地区と山間地区で約5割、葦山地区で約4割となっています。

D-6 予約型乗合タクシーが居住地区に欲しいか（必要だと思うか）

項目(n=435)	件数	比率
すごく思う	43	9.9%
どちらかといえば思う	124	28.5%
あまり思わない	100	23.0%
全く思わない	40	9.2%
分からない	104	23.9%
無回答	24	5.5%
計	435	100.0%



○「どちらかといえば思う」が28.5%、「分からない」が23.9%となっています。



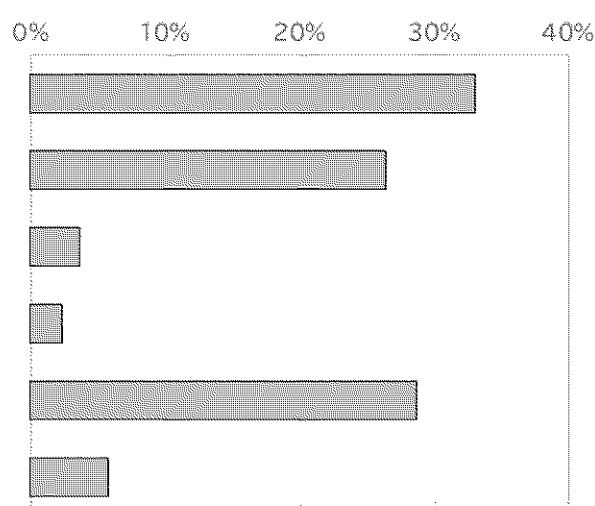
※「分からない」を除く、本調査における山間地区は、1ページを参照

○年代別では、20歳代と80歳代以上では「すごく思う」と「どちらかといえば思う」を合わせると6割を超えており、他の年代と比較して高い割合になっています。

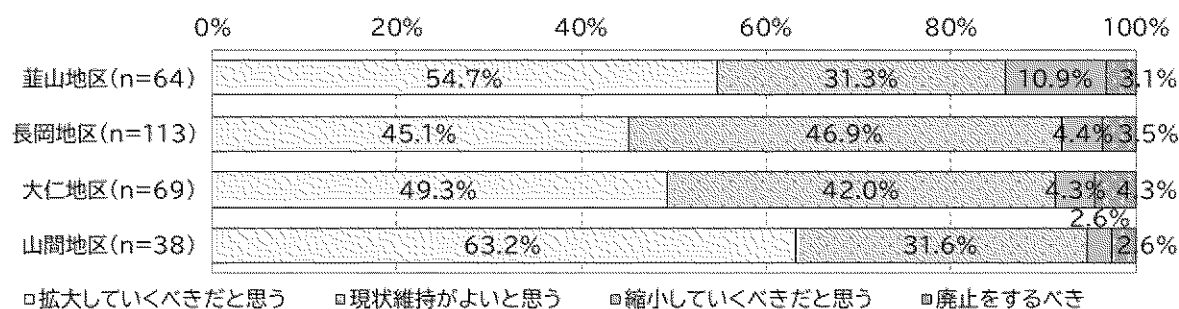
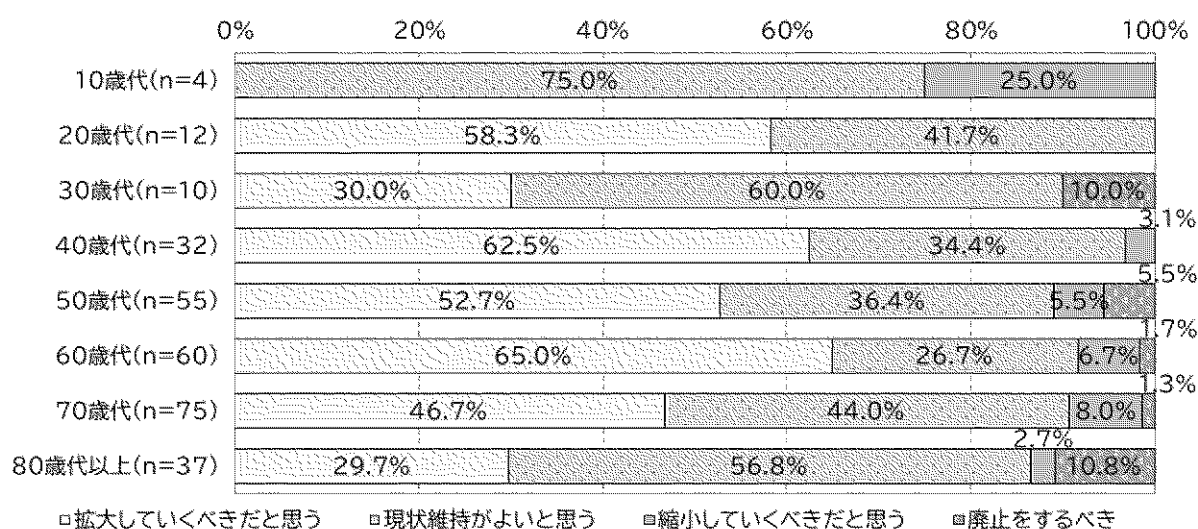
○地区別では、山間地区で「すごく思う」が最も多く約3割であり、「どちらかといえば思う」が約6割と他の地区と比較して高い割合になっています。

D-7 予約型乗合タクシー事業を今後どうすべきか

項目(n=435)	件数	比率
拡大していくべきだと思う	144	33.1%
現状維持がよいと思う	115	26.4%
縮小していくべきだと思う	16	3.7%
廃止をするべき	10	2.3%
不明	125	28.7%
無回答	25	5.7%
計	435	100.0%



○「拡大していくべきだと思う」が33.1%、「不明」が28.7%となっています。



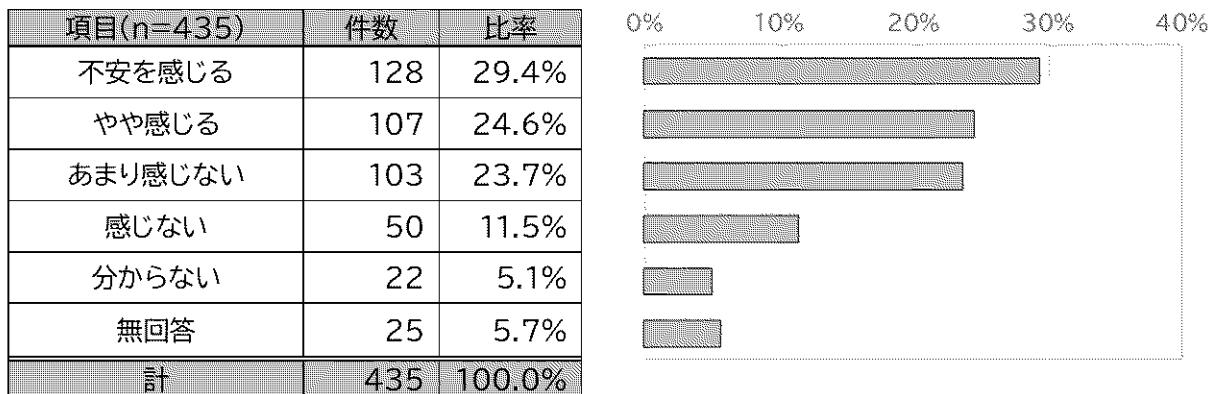
※「不明」を除く、本調査における山間地区は、1ページを参照

○年代別では、「拡大していくべきだと思う」は40～60歳代で5割を超え、70歳代以上よりも高い割合となっています。

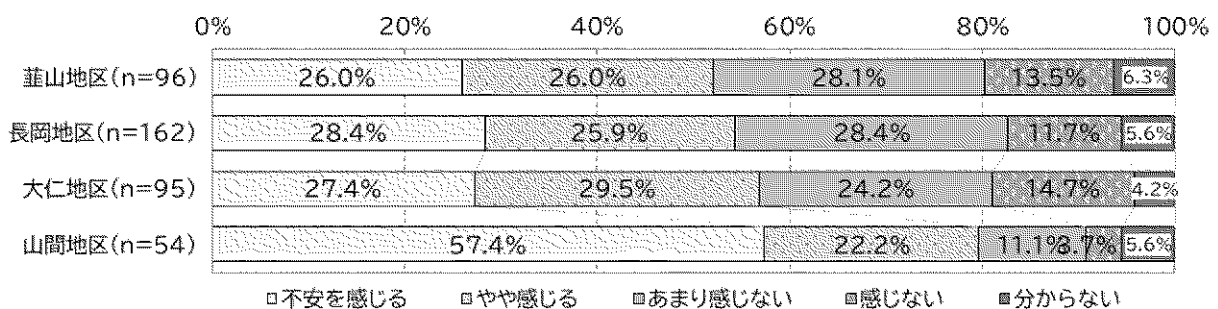
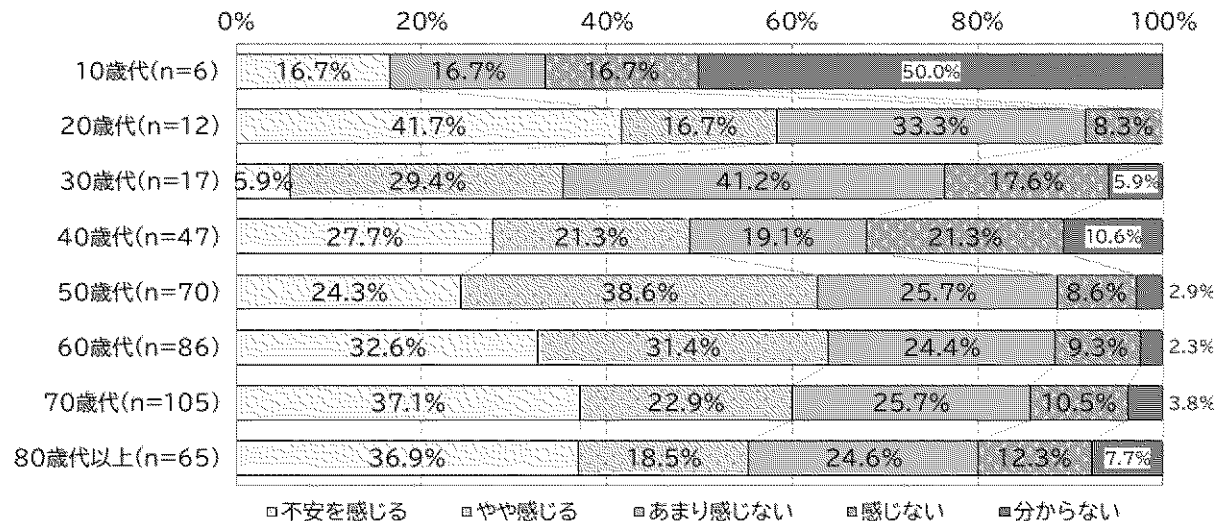
○地区別では、山間地区で「拡大していくべきだと思う」が約6割と他の地区と比較して高い割合となっています。

2.5 将来の移動や新技術について

E-1 買物や通院などの移動、それら施設への送迎の不安



○「不安を感じる」が29.4%、「やや感じる」が24.6%となっています。



※本調査における山間地区は、1 ページを参照

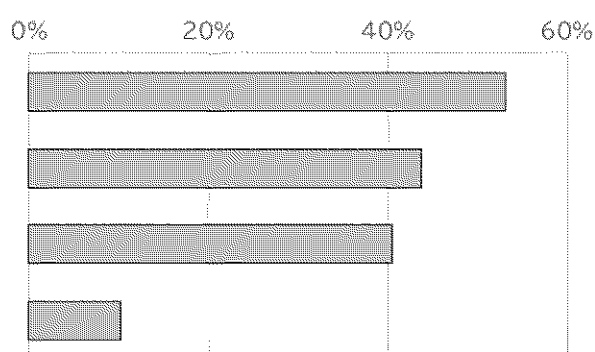
○年代別では、30 歳代までは「感じない」と「あまり感じない」の回答が多い傾向にあるものの、40 歳代以降は、「不安を感じる」と「やや感じる」が多い傾向にあります。

○地区別では、山間地区で「不安を感じる」が約5割と突出しています。

E-2 「不安を感じる」「やや感じる」と答えた理由

(該当するすべてに○)

項目(n=235)	件数	比率
家族や友人などの送迎は期待できないから	125	53.2%
自分で運転ができないから	103	43.8%
公共交通機関が不便で利用できないから	95	40.4%
その他	24	10.2%

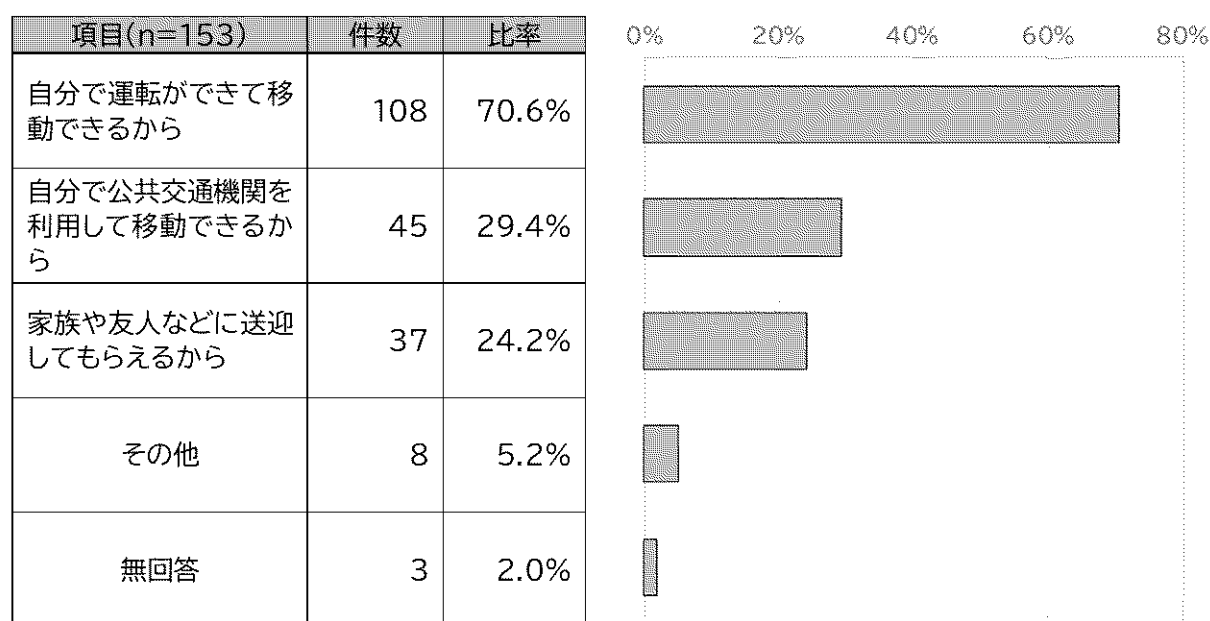


○「家族や友人などの送迎は期待できないから」が 53.2%、「自分で運転ができて移動できていないから」が 43.8%となっています。

その他 不安を感じる理由	
<p>○自家用車の運転が不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転が得意じゃない。道が狭い。 ・いつまで運転できるか ・運転がいつまで出来るのか不安 ・自分が運転できなくなった時 ・いずれは免許返納を考えているので ・今は免許を持っているが、返納してからが心配 ・将来運転が出来なくなる日が必ず来るから ・自家用車の運転がいつまで可能なのか？ ・これから運転できなくなると不安 ・自分で運転できなくなる時が来るだろうから <p>○自身や家族の身体的不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、足が痛く、免許返納したら通院が心配 ・手や足のけが等で病院に行く時 ・今は自分の身体も社会もどうなるかわからないため、漠然とした不安がある。 ・父親が高齢なので不安 	<p>○荷物の運搬の不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重い物が持てない。 ・免許返納すると重い荷物などの買い物ができない <p>○子供の通学の不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの通学 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減や高齢化 ・市営バス ・立花 GO は当方と仲良くできない(註)時間の制限等 ・公共交通機関の種類が少なすぎる。場所が限られたり。 ・車いす用のタクシーが高額。台数が少ない。

E-3 不安を「あまり感じない」「感じない」と答えた理由

(該当するすべてに○)

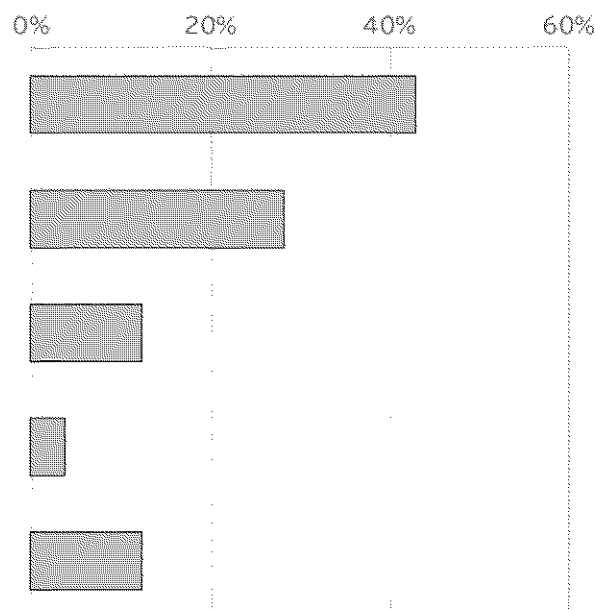


○「自分で運転ができて移動できるから」が 70.6%、「自分で公共交通機関を利用して移動できるから」が 29.4%となっています。

その他 不安に感じない理由
<ul style="list-style-type: none"> ・立地が良い ・自転車の利用 ・病院やスーパーが家から近いため ・自宅から全て近いから ・COOP 通販を使用、宅配を使う ・徒歩 10 分以内に交通機関 ・徒歩で行けるため ・エメラルドタウン、タウンバス利用可能

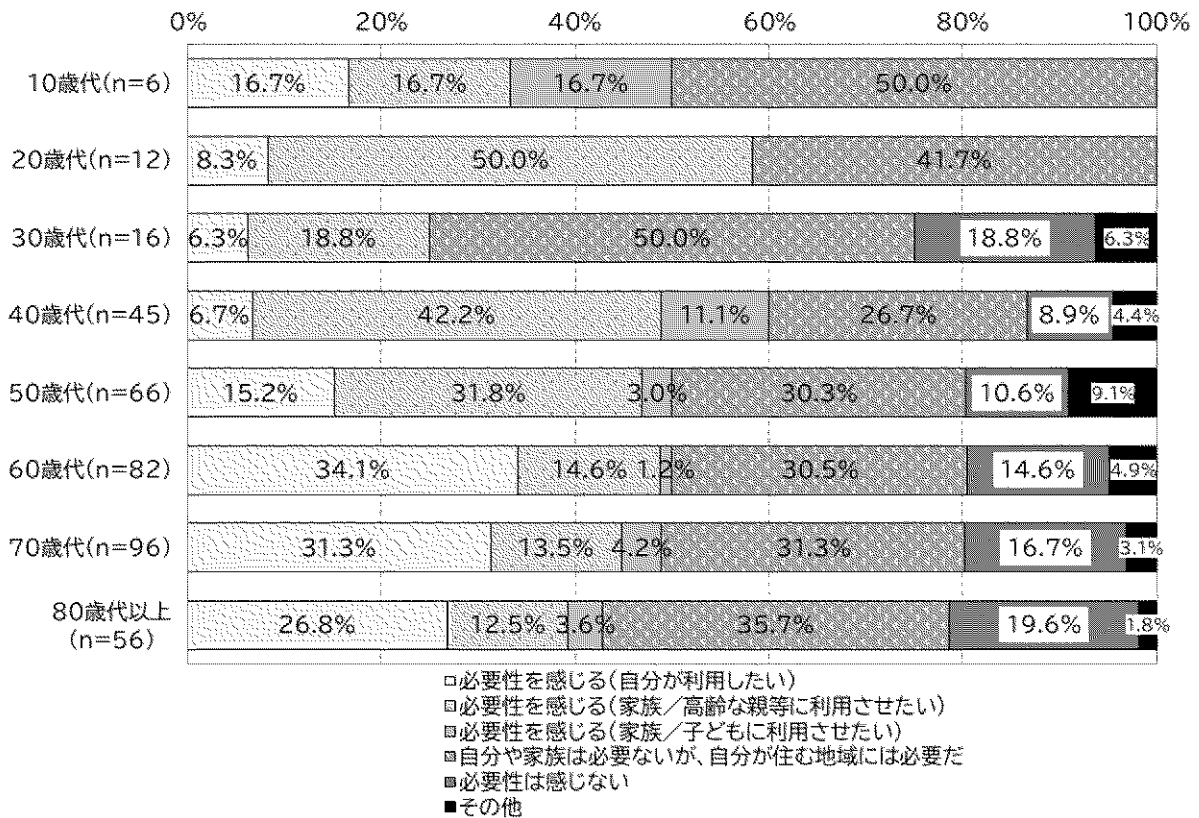
E-4 地域の助け合い交通の必要性を感じるか

項目(n=435)	件数	比率
必要性を感じる(自分が利用したい)	89	20.5%
必要性を感じる(家族／高齢な親等に利用させたい)	83	19.1%
必要性を感じる(家族／子どもに利用させたい)	15	3.4%
必要性を感じる 小計	187	43.0%
自分や家族は必要ないが、自分が住む地域には必要だ	123	28.3%
必要性は感じない	54	12.4%
その他	17	3.9%
無回答	54	12.4%
計	435	100.0%

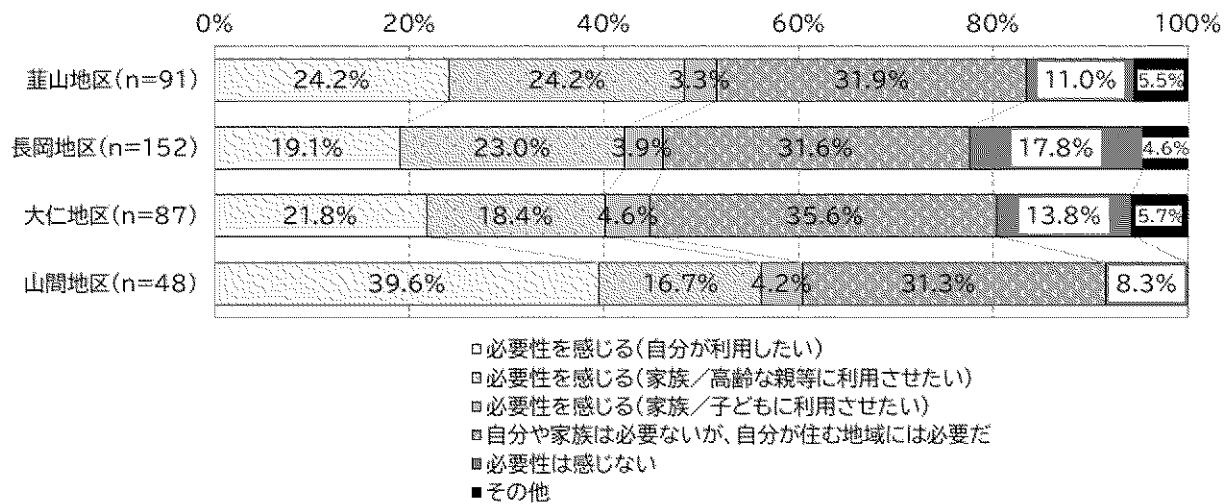


○「必要性を感じる」が 43.0%、「自分や家族は必要ないが、自分が住む地域には必要だ」が 28.3%、「必要性は感じない」が 12.4%となっています。

その他	
<p>○自分や自分の住む地域には必要ないが他の地域や高齢者には必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の家族、自分の住む地域には必要ないかもしれないが、他の地域には必要だろうと思う ・自分の地区には必要ないが、必要な地域はあると思う ・自分や家族は必要ないが、高齢者には必要 	<p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性を感じるが、事故が起こった時の対応等責任問題、難しい問題があると思う ・将来は必要になると思う ・現在のバスの大きさはいい。ほとんど乗っていない。マイクロバスサイズでいい。電気自動車など ・必要とする人がいるならいいことだと思う ・年配の方が運転しており危険な状況を見ているので、免許返納を推進していただき、その代わりにこういった事業を知らせて行けばいいのではと思う ・伊豆の国市内だけなら必要ない
<p>○必要があるか分からない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は分からない ・今はあまり気にしていない ・まだ実感がなくて、分からない ・近隣には自立している人がほとんどであるため、わからない ・不明 	



○全年代で「必要を感じる」が回答されており、「必要を感じない」は30歳代以降の各年代で約1～2割となっています。

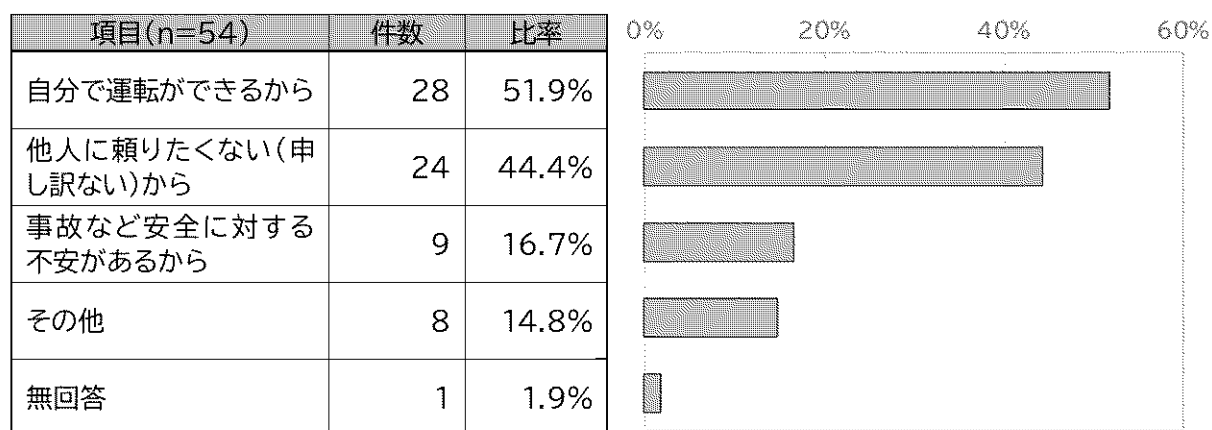


※本調査における山間地区は、1ページを参照

○地区別では、山間地区で「必要を感じる(自分が利用したい)」が約4割と突出しています。

E-5 地域の助け合い交通の必要性を感じない理由

(該当するすべてに○)



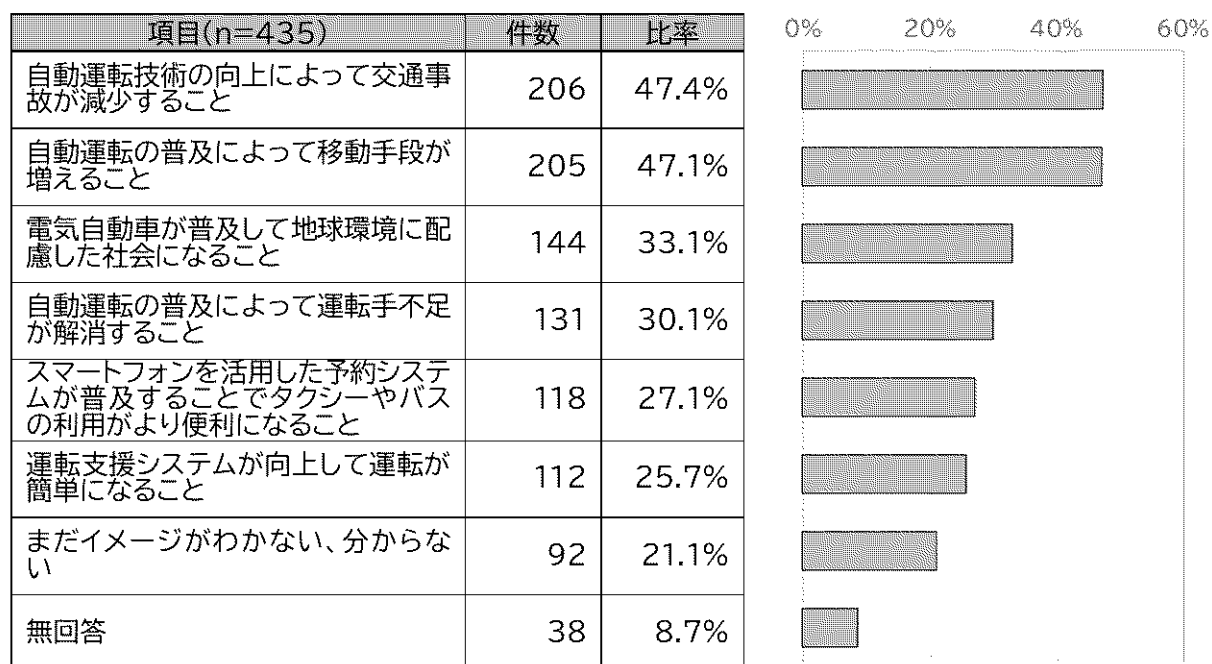
○「自分で運転ができるから」が51.9%、「他人に頼りたくない(申し訳ない)から」が44.4%となっています。

その他 不安に感じない理由

- ・家族が送迎するので
- ・バスの路線を増やすべきだと思うから
- ・その人が本当に信用できるか分からないのと、他人なので気を使って疲れるから。
- ・事故の時の責任の所在に課題があると考え。
- ・トラブルの原因になる
- ・自分の生活は自己管理すべきだから
- ・エメラルドタウン タウンバスの利用

E-6 技術進歩で期待すること

(該当するすべてに○)



○「自動運転技術の向上によって交通事故が減少すること」が47.4%、「自動運転の普及によって移動手段が増えること」が47.1%となっています。

3 調査票

公共交通に関わる市民アンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より市政運営にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。
鉄道や路線バス、タクシーなどの公共交通は、皆様の生活の足として日常生活に欠かせないものですが、新たな生活様式の定着による移動需要の減少、燃料費や人件費の増加により交通事業を取り巻く環境は大変厳しくなっております。

このような社会情勢の中、市では、今後も継続的かつ効率的にサービスを提供するため、今年度「伊豆の国市地域公共交通計画」の策定作業を進めています。計画の検討を進める上で、皆様の外出等の実態や公共交通の利用状況などを把握することが重要であることから、このたび、アンケート調査を実施することとしました。

お忙しいところ恐縮ですが、市民の代表として、ぜひ調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年6月

伊豆の国市長 山下 正行

ご回答にあたってのお願い

- ◆ このアンケートは、本市にお住まいの16歳以上90歳未満の方の中から無作為に選ばれた1,000人の方にお送りしています。
- ◆ あて名のご本人がお答えください(代筆は差し支えありません)。
- ◆ ご回答いただいた内容は、統計的な分析にのみ使用し、それ以外の目的に使用することはありません。また、個人が特定されることもありません。
- ◆ **令和5年6月30日(金)まで**に調査票に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、郵便ポストへ投函してください。

問合せ先

伊豆の国市役所 企画財政部協働まちづくり課



TEL/055-948-1412 FAX/055-948-2915

E-mail/kyoudou@city.izunokuni.shizuoka.jp



A あなた(回答者)自身のことについて、お聞きします。			
-1	性別を教えてください。	1 男性 2 女性 3 答えたくない	
-2	年齢はおいくつですか。	1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代 5 50歳代 6 60歳代 7 70歳代 8 80歳代以上	
-3	お住まいの地区はどちらですか。	1 長岡地区 2 蕪山地区(高原、小松ヶ原に在住の方) 3 蕪山地区(2以外で蕪山地域に在住の方) 4 大仁地区(長者原、田原野、浮橋、下畑、田中山に在住の方) 5 大仁地区(4以外で大仁地域に在住の方)	
-4	家族構成は次のうちどれですか。	1 ひとり暮らし 2 夫婦のみ 3 2世代同居(例:親と子) 4 3世代同居(例:親と子と孫) 5 その他()	
-5	運転免許を持っていますか。	1 持っている 2 持っていない 3 運転免許返納済み	
-6	自家用車・バイクを持っていますか。 また、運転をしていますか。	1 自家用車・バイクを持っていて、運転している 2 自家用車・バイクを持っているが、今は運転していない 3 自家用車・バイクは持っていないが、家族で共有し運転している 4 自家用車・バイクを持っておらず、運転もしていない	
-7	免許返納を考えていますか。	1 近いうちに考えている 2 いずれは考えている 3 今は考えていない 4 既に返納済み 5 分からない	
-8	スマートフォンの経路検索アプリを利用できますか。	1 経路検索アプリを利用できる 2 経路検索アプリは使えない 3 スマートフォンを持っていない	
B あなたの日常の外出について、お聞きします。			
過去、1カ月程度で「通勤・通学」、「買物」、「通院」等それぞれの目的ごとに、最も多かった外出先について、教えてください。(該当する外出がない場合は、空欄で構いません。)			
目的	外出先住所など	主な交通手段(○は1つ)	外出の頻度(○は1つ)
通勤 通学	市・町 町・丁目	1 徒歩 2 自転車 3 バイク 4 路線バス 5 タクシー 6 鉄道 7 自家用車 8 家族の送迎 9 その他()	1 毎日 2 平日はほぼ毎日 3 週 回程度 4 月 回程度
買物	市・町 町・丁目 (施設名:)	1 徒歩 2 自転車 3 バイク 4 路線バス 5 タクシー 6 鉄道 7 自家用車 8 家族の送迎 9 その他()	1 毎日 2 平日はほぼ毎日 3 週 回程度 4 月 回程度
通院	市・町 町・丁目 (施設名:)	1 徒歩 2 自転車 3 バイク 4 路線バス 5 タクシー 6 鉄道 7 自家用車 8 家族の送迎 9 その他()	1 毎日 2 平日はほぼ毎日 3 週 回程度 4 月 回程度
その他の 外出	市・町 町・丁目 (施設名:)	1 徒歩 2 自転車 3 バイク 4 路線バス 5 タクシー 6 鉄道 7 自家用車 8 家族の送迎 9 その他()	1 毎日 2 平日はほぼ毎日 3 週 回程度 4 月 回程度

C 現状の公共交通の利便性等について、お聞きします。		
-1	鉄道に関する満足度	1 満足 2 やや満足 3 どちらでもない 4 やや不満 5 不満 6 日常的には利用しない
-2	路線バスに関する満足度	1 満足 2 やや満足 3 どちらでもない 4 やや不満 5 不満 6 日常的には利用しない
-3	タクシーに関する満足度	1 満足 2 やや満足 3 どちらでもない 4 やや不満 5 不満 6 日常的には利用しない
-4	現状の外出環境で困っていることは何ですか。 (最大で3つを○)	1 自宅から鉄道駅が遠い 2 自宅からバス停が遠い 3 自宅から最寄りの鉄道駅までの路線バスの本数が少ない 4 路線バスが自宅や目的地へ通っていない 5 自宅近くに公共交通機関がない 6 身体的な理由等により公共交通機関が利用できない 7 目的地へ向かう公共交通機関がない (目的地:) 8 特にない 9 その他()
D 伊豆の国市の交通施策(自主運行バス事業)について、お聞きします。		
市では、民間路線を除くバス路線の維持に、年間で約 3,100 万円を支出しています(R3実績)。 この金額は、市民1人当たり換算で年額 645 円を負担している計算です。 ● 千代田田地～葦山駅～奈古谷温泉口線 ● 亀石峠～田京駅・大仁駅～田京駅線		
-1	この現状を知っていましたか。	1 知っていた 2 知らなかった
-2	これは適切な支出だと思いますか。	1 適切な支出だと思う 2 適切な支出ではないが仕方ない 3 収支改善が必要だと思う 4 分からない
-3	この事業は今後どうしていくべきだと思いますか。	1 拡大していくべきだと思う 2 現状維持がよいと思う 3 縮小していくべきだと思う 4 廃止をするべき 5 不明
市では、予約型乗合タクシー事業(地区内にバス停を置き、最寄りの鉄道駅や商店等まで1日当たり6～8便、自己負担は概ね 400 円～500 円、予約があった場合のみ運行。自主的な地区組織を立ち上げ、市と交通事業者と地区組織の3者が協働して運行する交通システム)を運行し、この事業は、年間で約 130 万円を支出しています(R4実績)。 この金額は、市民1人当たり換算で年額 27 円を負担している計算です。 ● 星の花号(星和・立花台～伊豆長岡駅・田京駅) ● 立花 Gol(立花～田京駅)		
-4	この制度を知っていましたか。	1 知っていた 2 知らなかった
-5	これは適切な支出だと思いますか。	1 適切な支出だと思う 2 適切な支出ではないが仕方ない 3 収支改善が必要だと思う 4 分からない
-6	あなたの地区にも欲しいと思いますか(必要だと思いますか)。	1 すごく思う 2 どちらかといえば思う 3 あまり思わない 4 全く思わない 5 分からない
-7	この事業は今後どうしていくべきだと思いますか。	1 拡大していくべきだと思う 2 現状維持がよいと思う 3 縮小していくべきだと思う 4 廃止をするべき 5 不明

E		将来のあなた(回答者)やあなたの家族について、お聞きします。	
-1	買物や通院などの移動、それらの施設への送迎に不安を感じますか。	1 不安を感じる(-2 へ) 2 やや感じる(-2 へ) 3 あまり感じない(-3 へ) 4 感じない(-3 へ) 5 分からない	
-2	問1で「不安を感じる」「やや感じる」と答えた方はその理由を教えてください。 (該当するすべてに○)	1 自分で運転ができないから 2 公共交通機関が不便で利用できないから 3 家族や友人などの送迎が期待できないから 4 その他()	
-3	問1で不安は「あまり感じない」「感じない」と答えた方はその理由を教えてください。 (該当するすべてに○)	1 自分で運転できて移動できるから 2 自分で公共交通機関を利用して移動できるから 3 家族や友人などに送迎してもらえるから 4 その他()	
近年、自治体によっては、バスの減便や廃止、免許返納の増加によって、 <u>地域住民同士の助け合いによる送迎</u> を行うなど様々な試みが進んでおり、伊豆の国市内でも千代田区で見守り隊×社会福祉法人あやめ会によるボランティア移送に取り組んでいる事例もあります。			
-4	あなたは、地域の助け合い交通について、必要性を感じますか。	1 必要性を感じる(自分が利用したい) 2 必要性を感じる(家族/高齢な親等に利用させたい) 3 必要性を感じる(家族/子どもに利用させたい) 4 自分や家族は必要ないが、自分が住む地域には必要だ 5 必要性は感じない(-5 へ) 6 その他()	
-5	問4で「必要性は感じない」と答えた方はその理由を教えてください。 (該当するすべてに○)	1 自分で運転ができるから 2 事故など安全に対する不安があるから 3 他人に頼りたくない(申し訳ない気持ちになる)から 4 その他()	
近年では、電気自動車やAIを活用した自動運転技術の開発が進み、全国的に様々な実証実験が行われています。実用化にはまだ時間がかかるかもしれませんが、静岡県内でも同様に実証実験が始まっています。		 ← コントロールセンター  ← 使用しているEV車両	
技術進歩であなたが期待することは何ですか。 (該当するすべてに○)		1 自動運転の普及によって移動手段が増えること 2 自動運転の普及によって運転手不足が解消すること 3 自動運転技術の向上によって交通事故が減少すること 4 運転支援システムが向上して運転が簡単になること 5 電気自動車が普及して地球環境に配慮した社会になること 6 スマートフォンを活用した予約システムが普及することでタクシーやバスの利用がより便利になること 7 まだイメージがわからない、分からない	
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。			